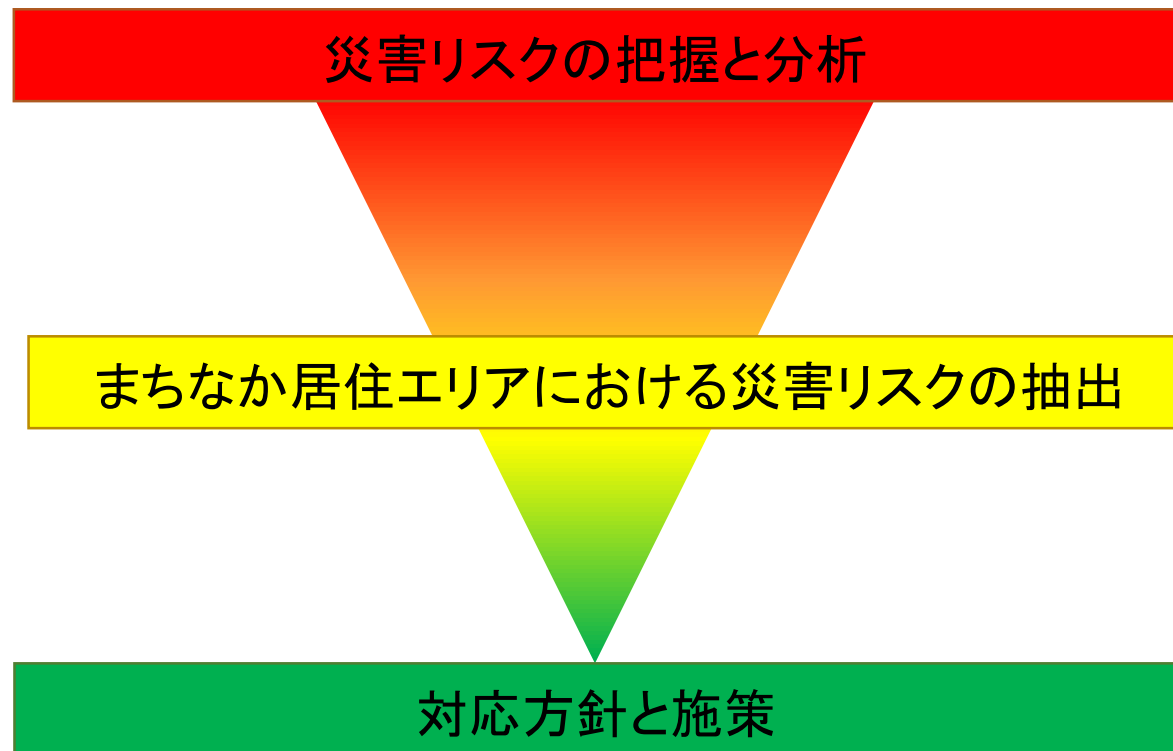


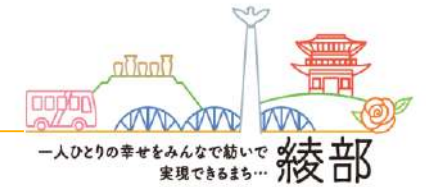
## 防災指針

防災指針は、居住や都市機能の誘導を図る上で、必要となる都市の防災に関する機能の確保を図るための指針です。

居住を誘導するまちなか居住エリア内の災害リスクをできる限り回避、あるいは低減させ、安心して暮らせる住環境を実現させるために必要な防災・減災対策を計画的に実施していくことが求められています。

このため、災害リスクを抽出し、各リスクに対応する防災・減災の施策や事業を示します。





# 災害リスクの把握と分析

# 災害リスク: 洪水

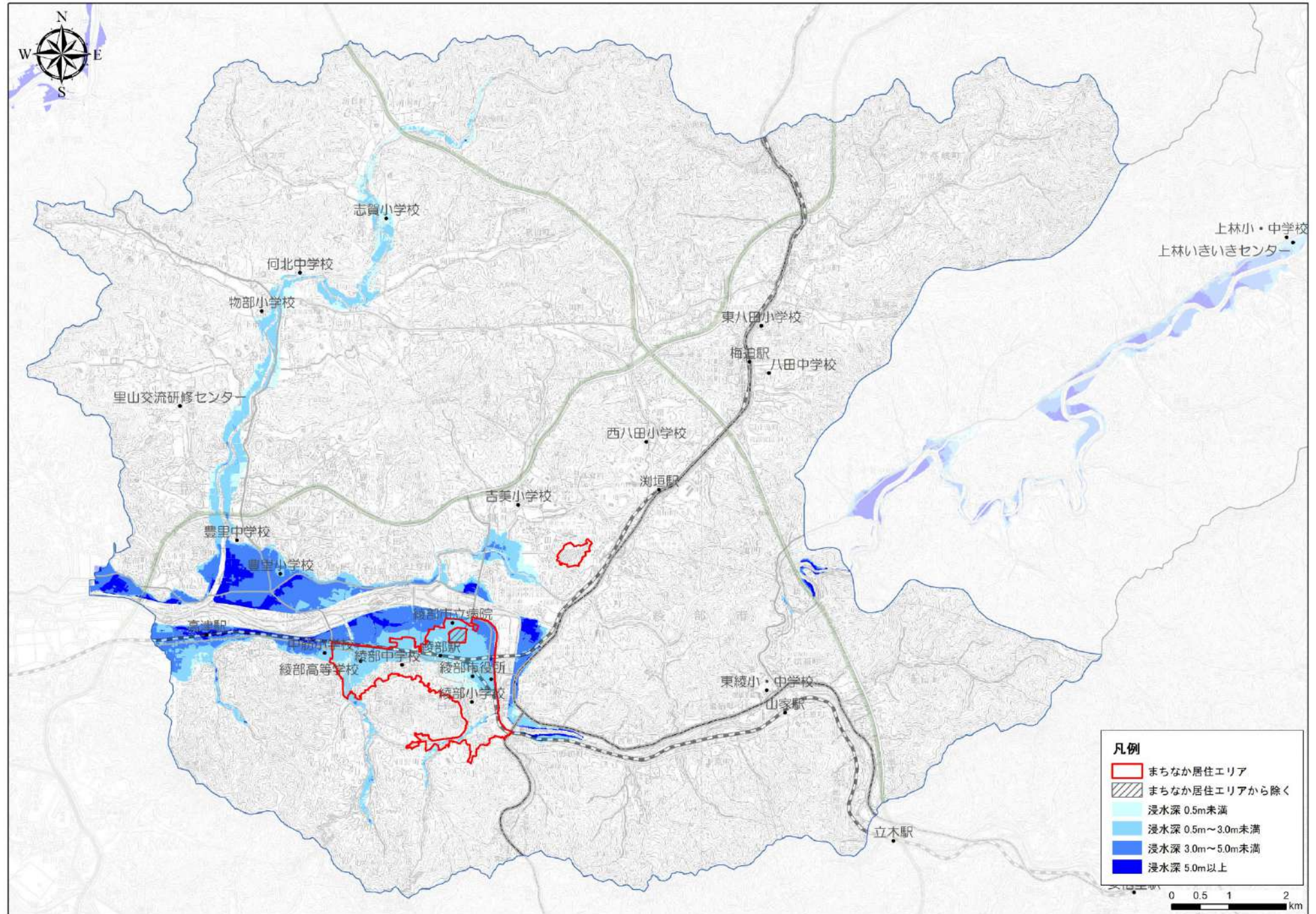
## 浸水想定区域

想定最大規模(1/1000年確率)

### 都市計画区域

- 由良川の左岸、右岸に浸水深3.0m以上の浸水想定区域が広がっています。
- また支川沿いにおいても一定の浸水想定区域がみられます。

資料：近畿地方整備局福知山河川国道事務所  
綾部市ハザードマップ





# 災害リスク: 洪水

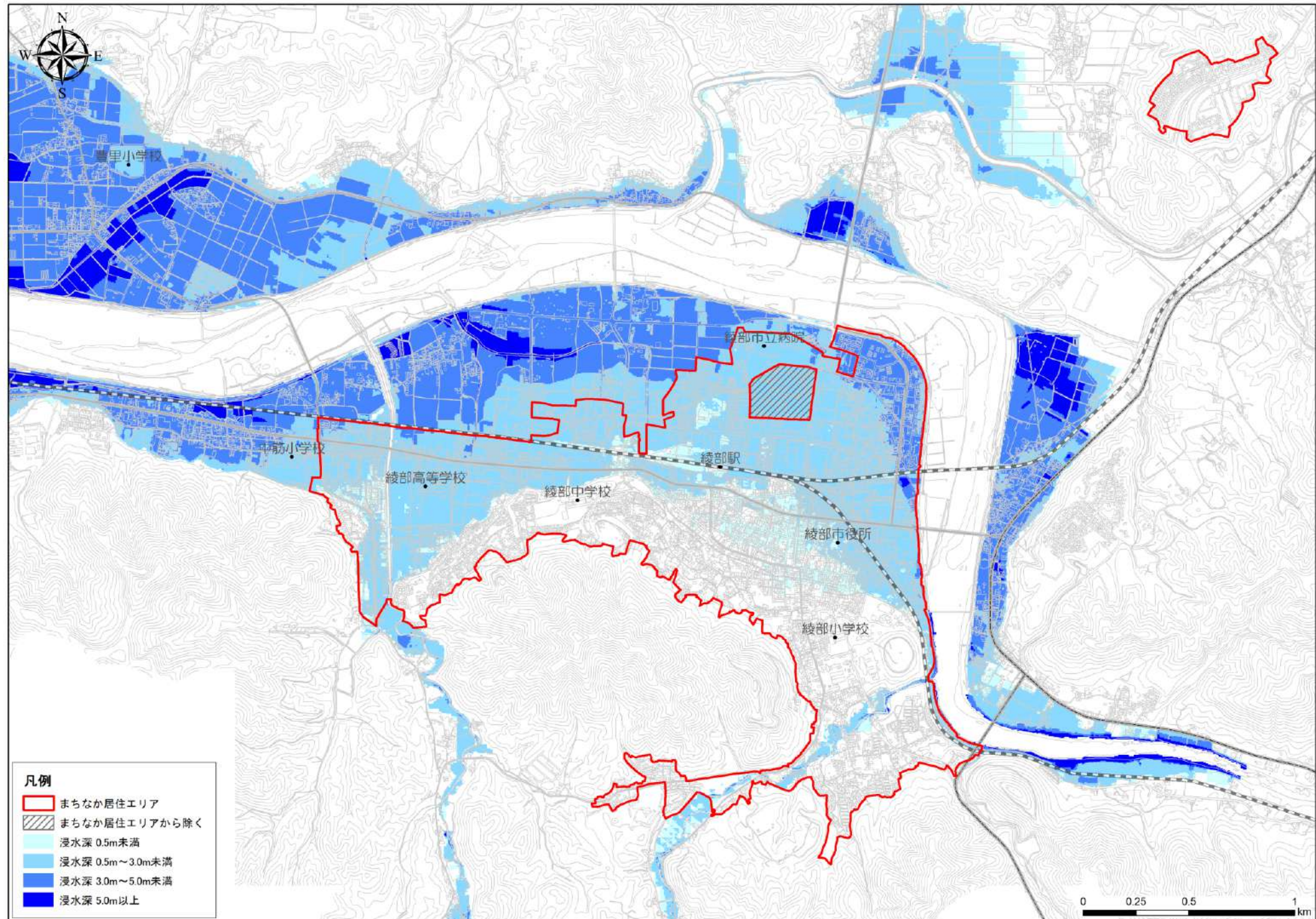
## 浸水想定区域

想定最大規模(1/1000年確率)

### 市街地の状況

- 想定最大規模の降雨が発生した場合、由良川の氾濫によりまちなか居住エリアにおいても0.5~3.0m未満の浸水区域が想定され、一部に3.0~5.0m及び5.0m以上の浸水が想定される区域があります。

資料：近畿地方整備局福知山河川国道事務所  
綾部市ハザードマップ





# 災害リスク: 洪水

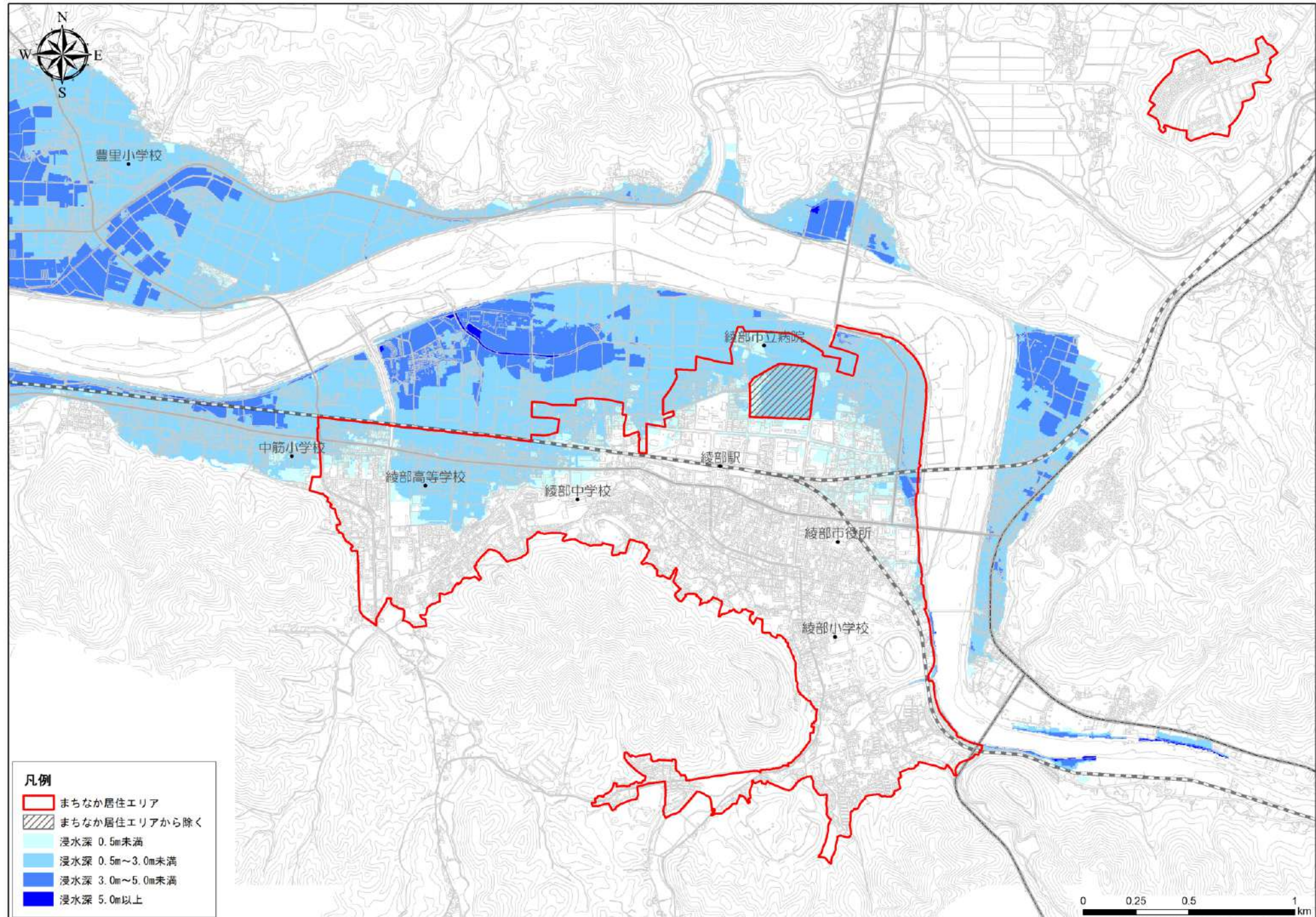
## 浸水想定区域

計画規模(1/100年確率)

市街地の状況(由良川)

- 計画規模の場合、浸水深、浸水区域は共に想定最大規模よりも限定されますが、まちなか居住エリアの由良川に近接する部分に浸水想定区域があります。
- まちなか居住エリアについては、エリアの一部に3.0m未満の浸水及び3.0m～5.0m未満の浸水が想定されています。

資料：近畿地方整備局福知山河川国道事務所





# 災害リスク: 洪水

## 内水による浸水実績

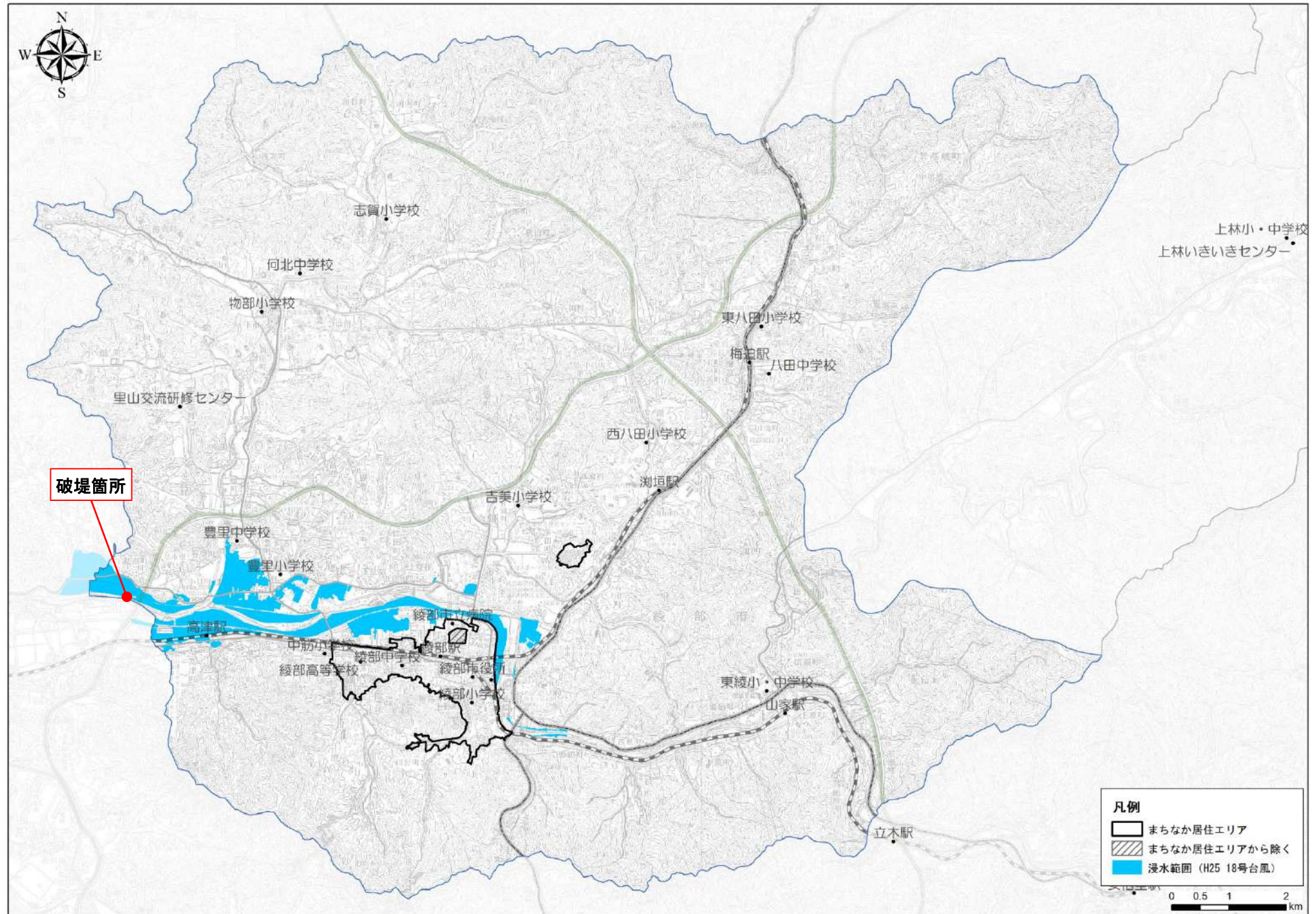
平成25年台風18号

浸水実績(由良川)

## 都市計画区域

- 由良川の左岸・右岸とも浸水実績があります。高津町、延町、豊里地区など比較的広範囲で被害が発生していることがわかります。これらの原因は内水によるものです。なお、私市町の右岸では破堤等による浸水が発生しました。

資料：平成25年災害統計調査





# 災害リスク: 洪水

## 内水による浸水実績

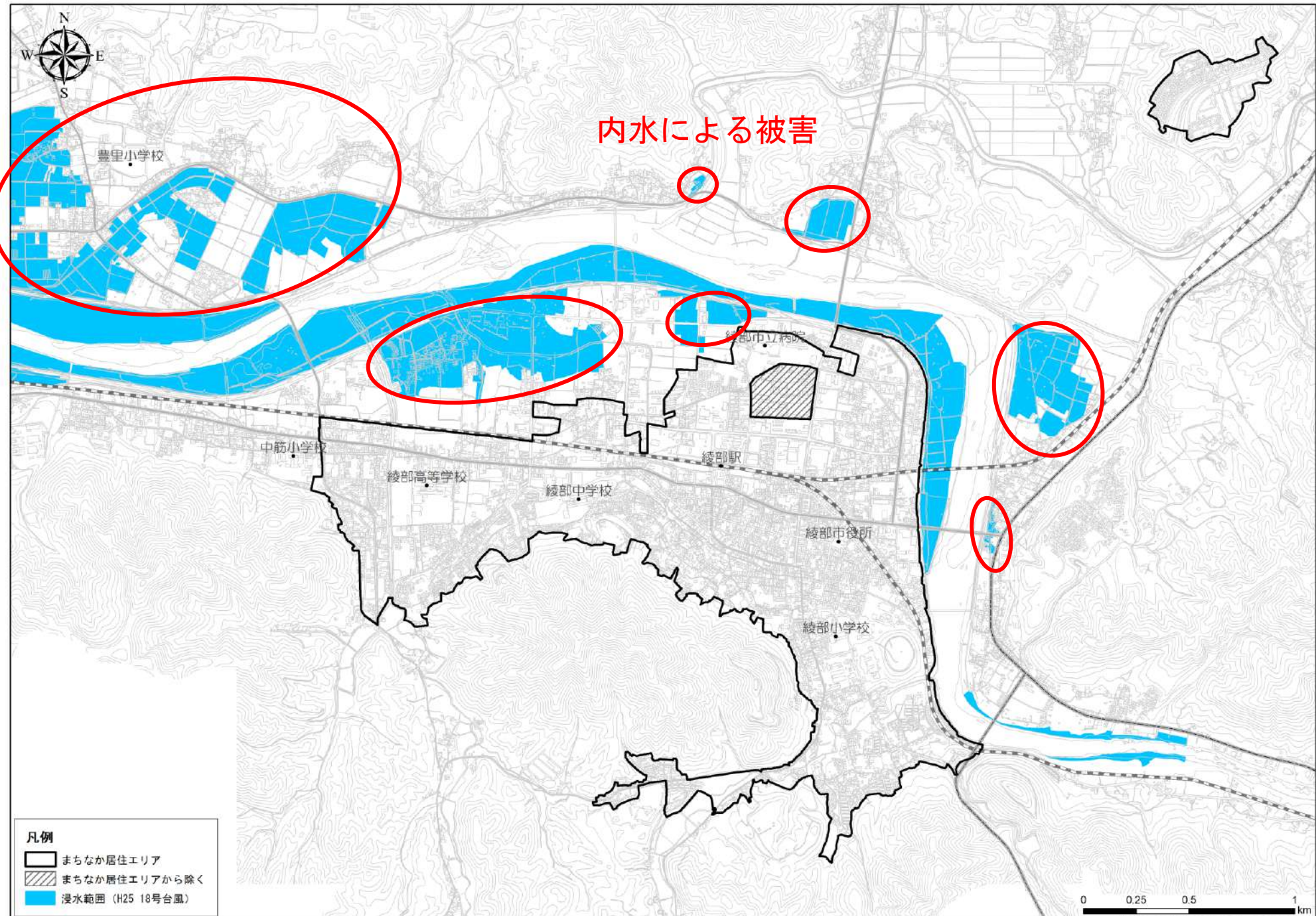
平成25年台風18号

浸水実績(由良川)

### 市街地の状況

- 由良川の左岸・右岸とも一部で浸水しています。(新堤外は無堤部溢水の状況)
- まちなか居住エリア内は面的な広がりを持った被害区域は確認されていません。

資料：平成25年災害統計調査





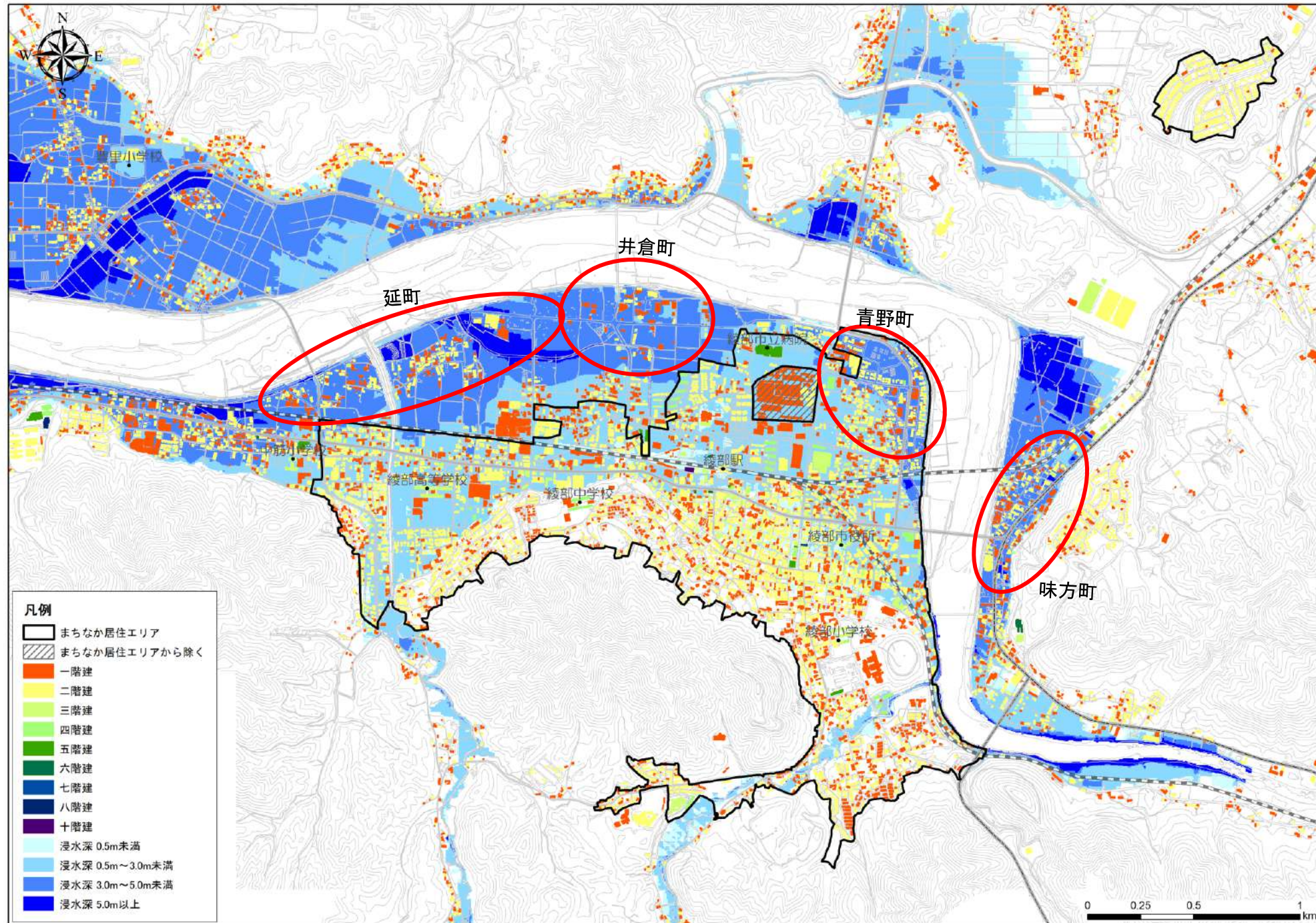
# 災害リスク: 洪水

## 浸水想定区域と 階層別建築物の状況

想定最大規模(1/1000年確率)

### 市街地の状況

- 浸水想定区域内の建築物は、二階建て以上の割合が比較的多くなっており、浸水深3.0m未満であれば、垂直避難も可能と考えられます。しかし、一階建ての建築物も相当数存在しています。
- 想定最大規模では青野町、井倉町、延町等の由良川沿いに3.0m以上の浸水区域が想定されており、これらの区域では二階建てでも垂直避難が困難となります。



資料：近畿地方整備局福知山河川国道事務所  
綾部市ハザードマップ  
建物現況調査(令和2年度・綾部市)



# 災害リスク: 洪水

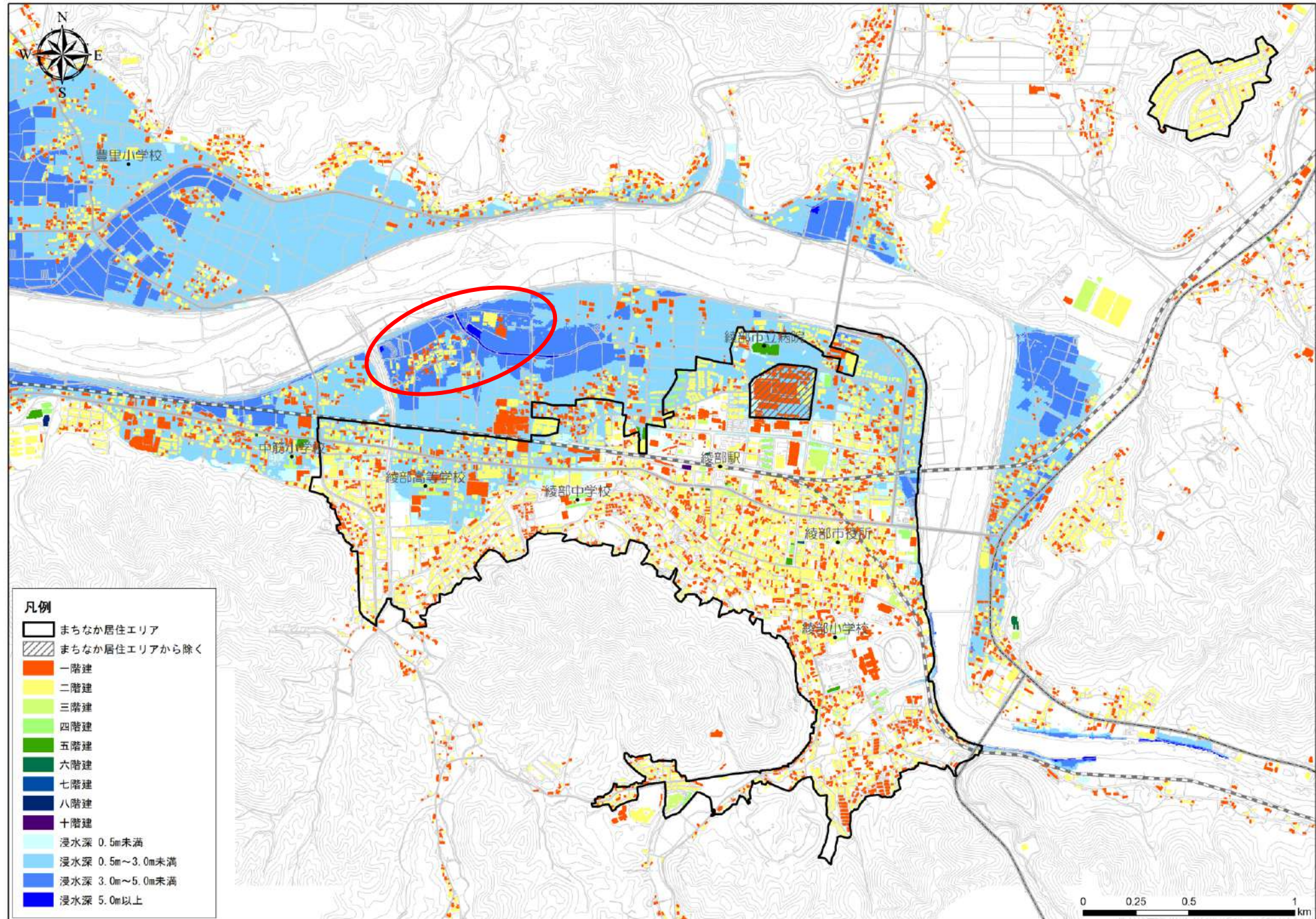
## 浸水想定区域と 階層別建築物の状況

計画規模(1/100年確率)

市街地の状況(由良川)

- 計画規模で見ると、延町及び井倉町の一部に3.0m以上の区域が存在しており、この区域の二階建以下の建築物は垂直避難が困難となります。

資料：近畿地方整備局福知山河川国道事務所  
：建物現況調査（令和2年度・綾部市）





# 災害リスク: 洪水

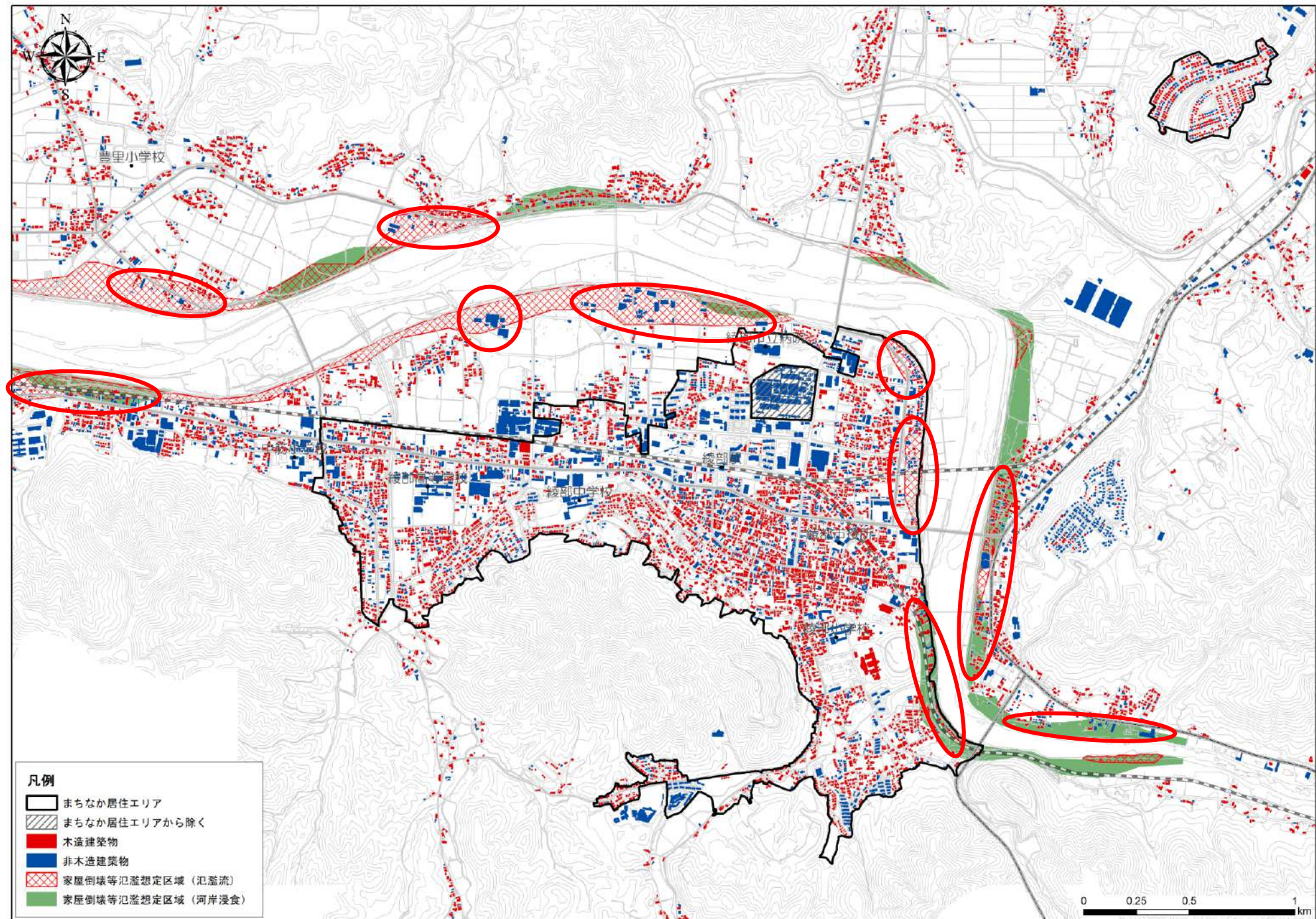
## 家屋倒壊等氾濫想定区域と建築物の状況

想定最大規模(1/1000年確率)

### 市街地の状況

- 一部の氾濫想定区域に建築物が存在します。特に並松町、味方町、位田町には木造の建築物が多く立地しています。
- まちなか居住エリアは一部に想定区域が設定されており、建築物も一定存在しています。

資料：近畿地方整備局福知山河川国道事務所  
建物現況調査（令和2年度・綾部市）





# 災害リスク: 洪水

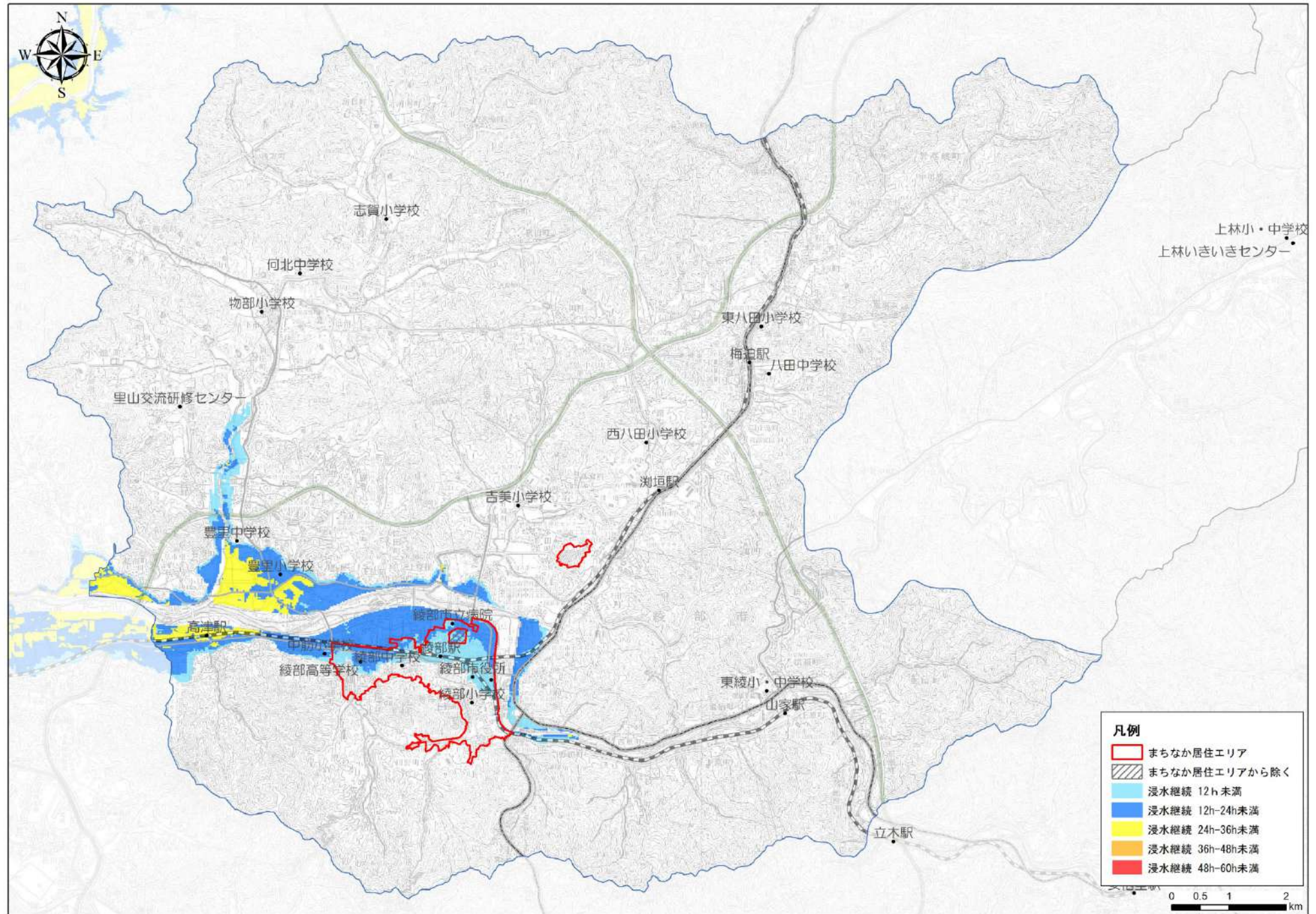
## 浸水継続時間

想定最大規模(1/1000年確率)

都市計画区域(由良川)

- 高津町と豊里地区で24時間以上36時間未満の区域が存在しています。その他の由良川沿岸部で24時間未満、市街地の一部に12時間未満の区域が想定されています。

資料：近畿地方整備局福知山河川国道事務所





# 災害リスク: 洪水

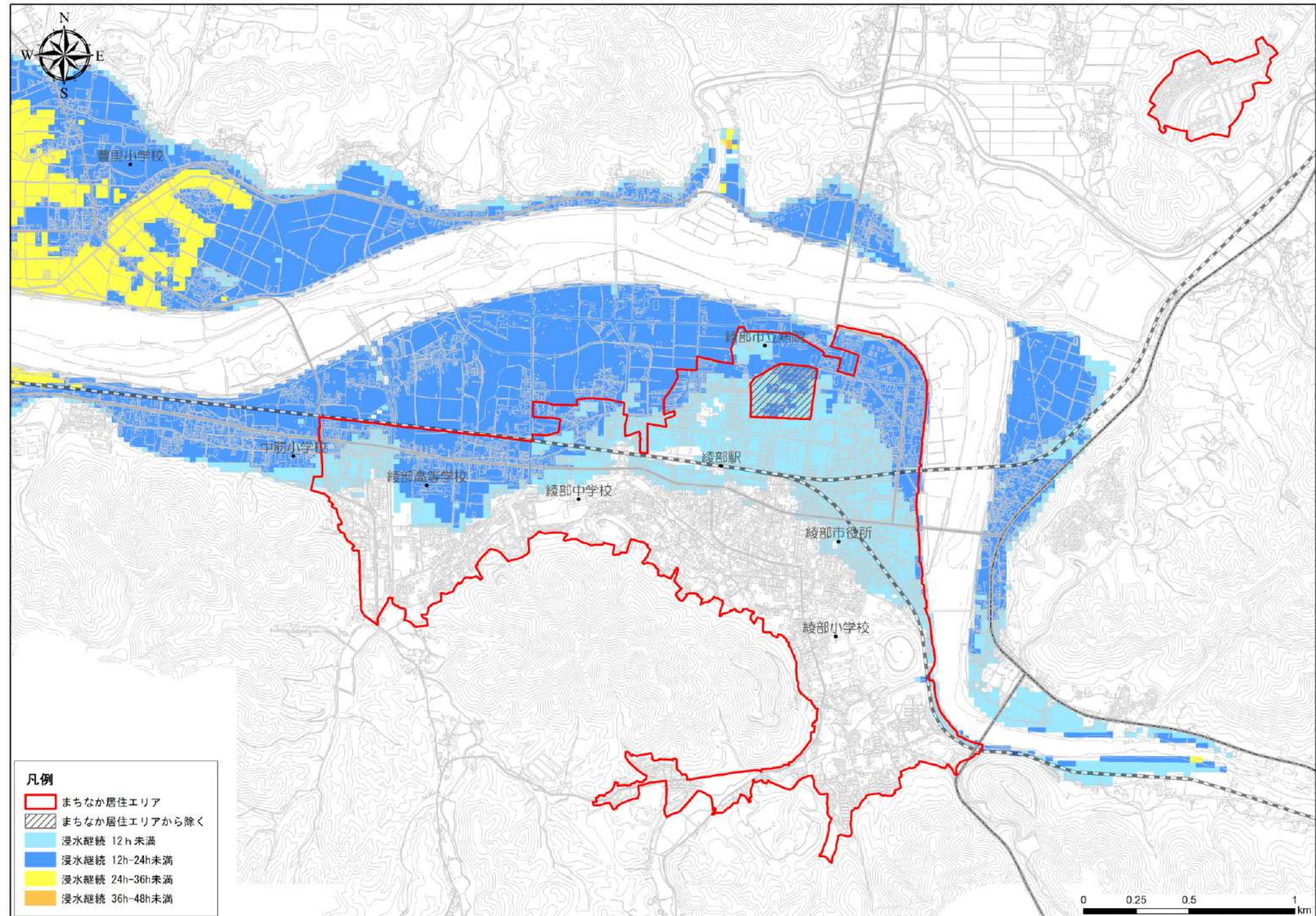
## 浸水継続時間

想定最大規模(1/1000年確率)

市街地の状況(由良川)

- 由良川沿岸部では12時間を越え24時間未満と想定されていますが、市街地の中心部は12時間未満となっています。

資料: 近畿地方整備局福知山河川国道事務所





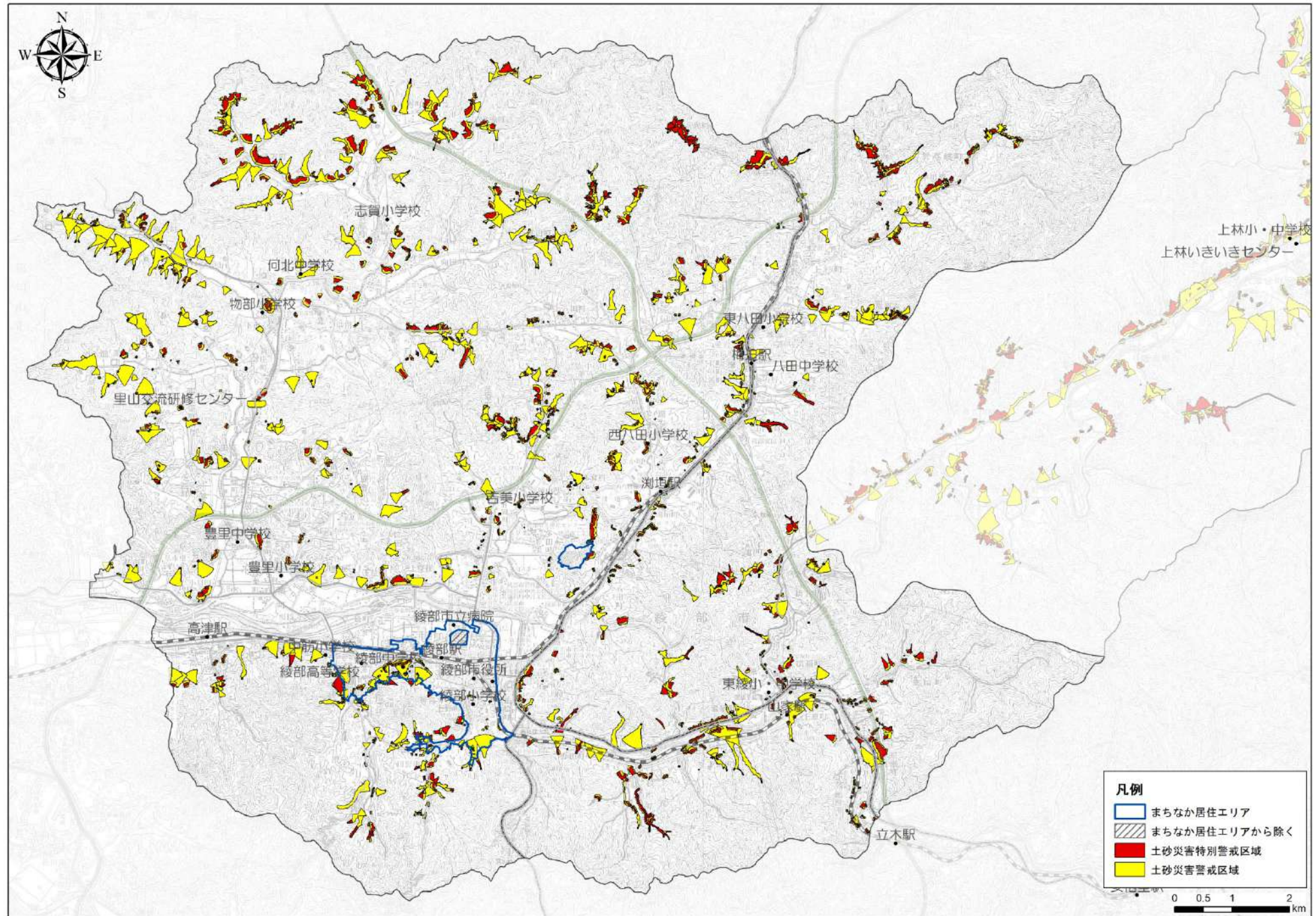
# 災害リスク:土砂災害

土砂災害特別警戒区域  
土砂災害警戒区域

都市計画区域

- 本市は、山林が市域の約7割を占めており、土砂災害警戒区域が全域に存在します。

資料：綾部市ハザードマップ





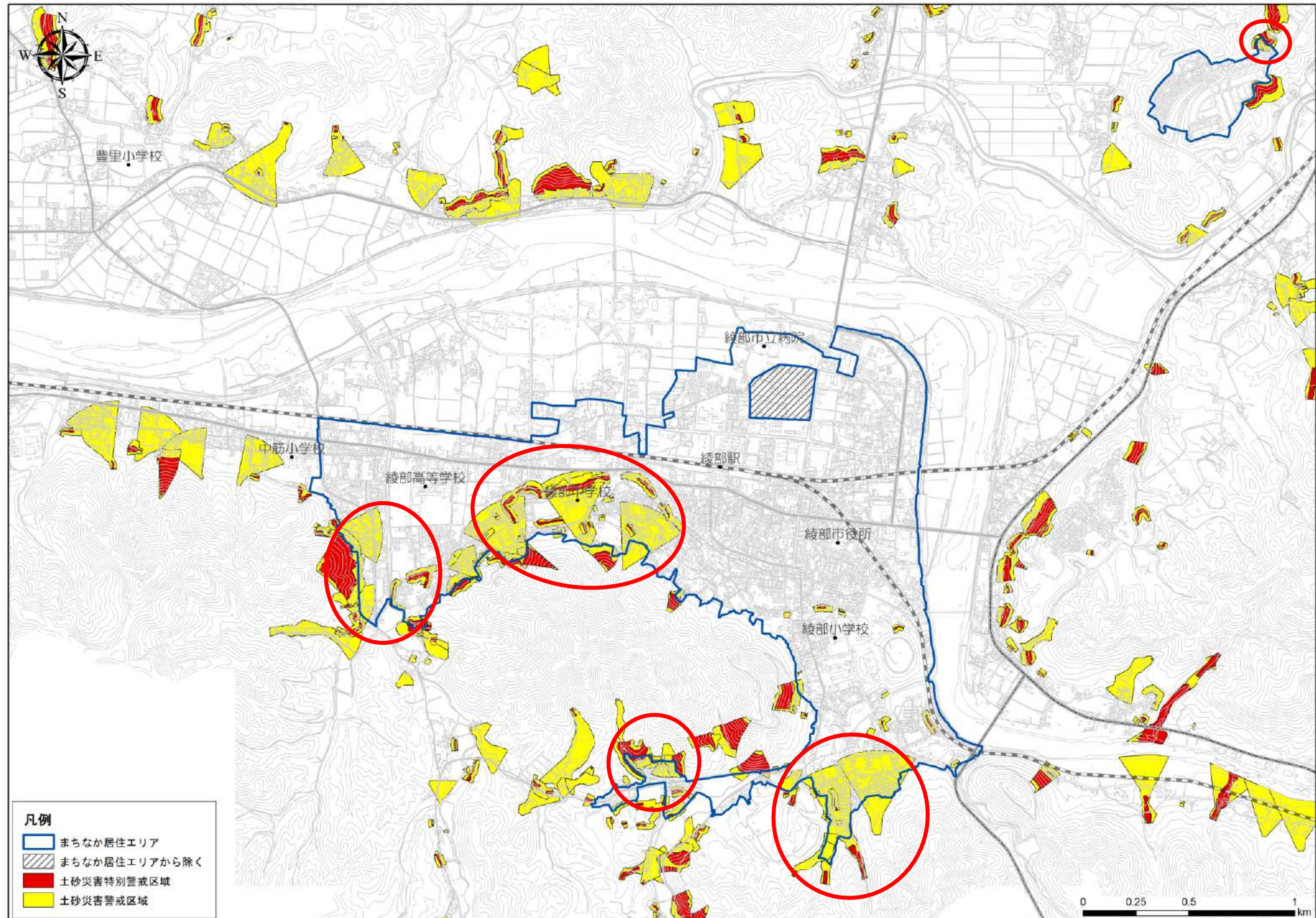
# 災害リスク:土砂災害

## 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域

### 市街地の状況

- まちなか居住エリアの一部(神宮寺町、宮代町、寺町、田野町、上延町、岡町、桜が丘地区など)や傾斜地の一部では、土砂災害が発生する恐れがあります(土砂災害特別警戒区域)。また、対策工事等が未実施となっている地区では、土砂災害のリスクが高くなっています(土砂災害特別警戒地区)。
- エリア内に指定される土砂災害警戒区域の一部では、土砂災害特別警戒区域が見られません。

資料：綾部市ハザードマップ





# 災害リスク:土砂災害

## 大規模盛土造成地

大規模盛土造成地とは

●盛土の面積が3,000㎡以上の谷埋め型の盛土造成地。

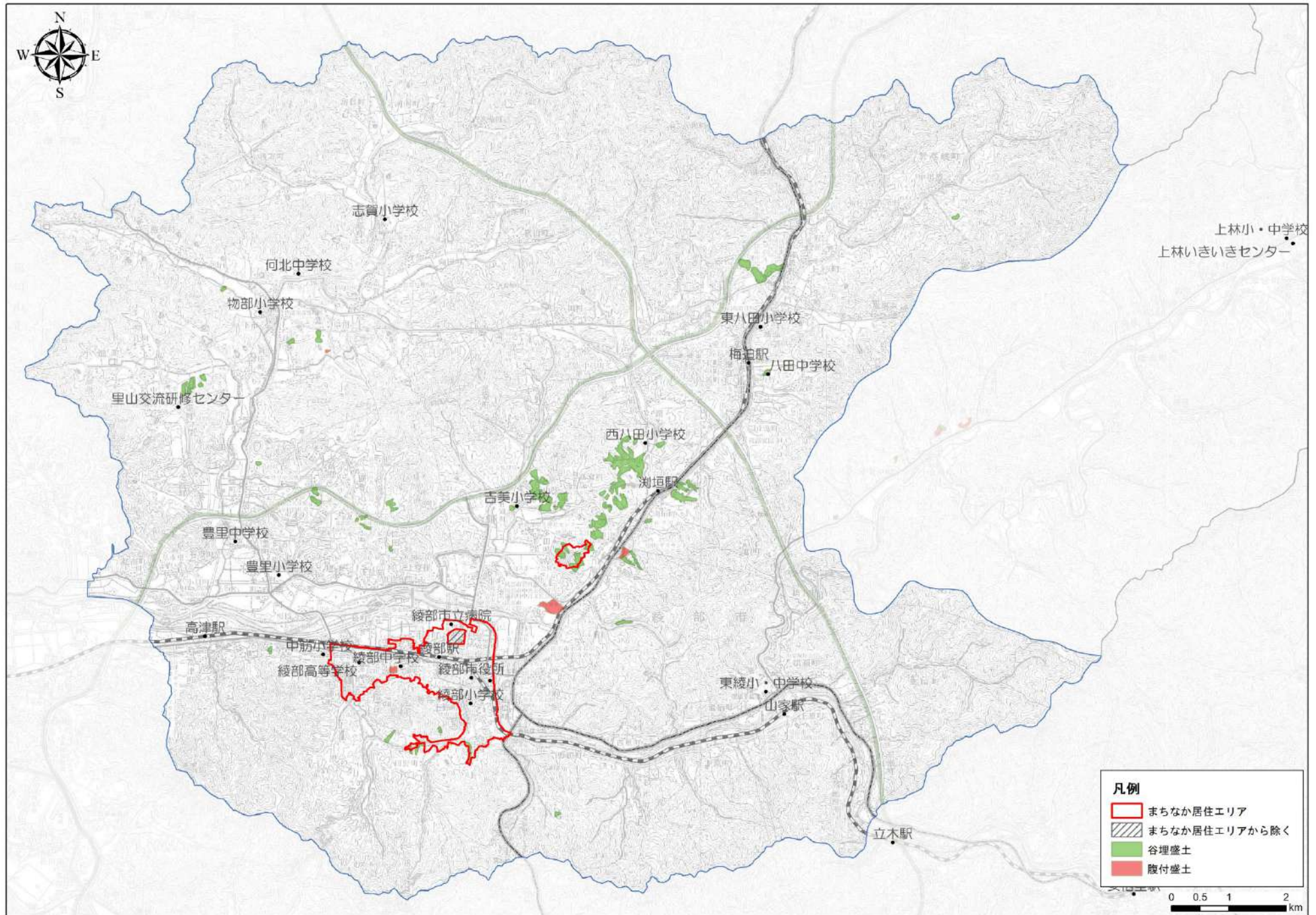
●盛土前の地盤面の傾斜が20度以上で、かつ盛土の高さが5m以上の腹付け型盛土造成地。

### 抽出方法

昭和20年代から50年代にかけて作成された、旧版都市計画図、旧版森林基本図、旧版地形図などと、平成18年作成の地形図データとの標高差の差分により抽出。

この地図は安全性を確認すべき大規模盛土造成地の概ねの場所を示したもので、危険性のある盛土造成地を示したものではありません。

資料：大規模盛土造成地マップ（京都府）





# 災害リスク:地震

## 予想震度と液状化危険度1 都市計画区域

- 上林川断層地震、三峠断層地震が発生した場合大きな被害が想定されます。

### 【上林川断層地震の被害想定】

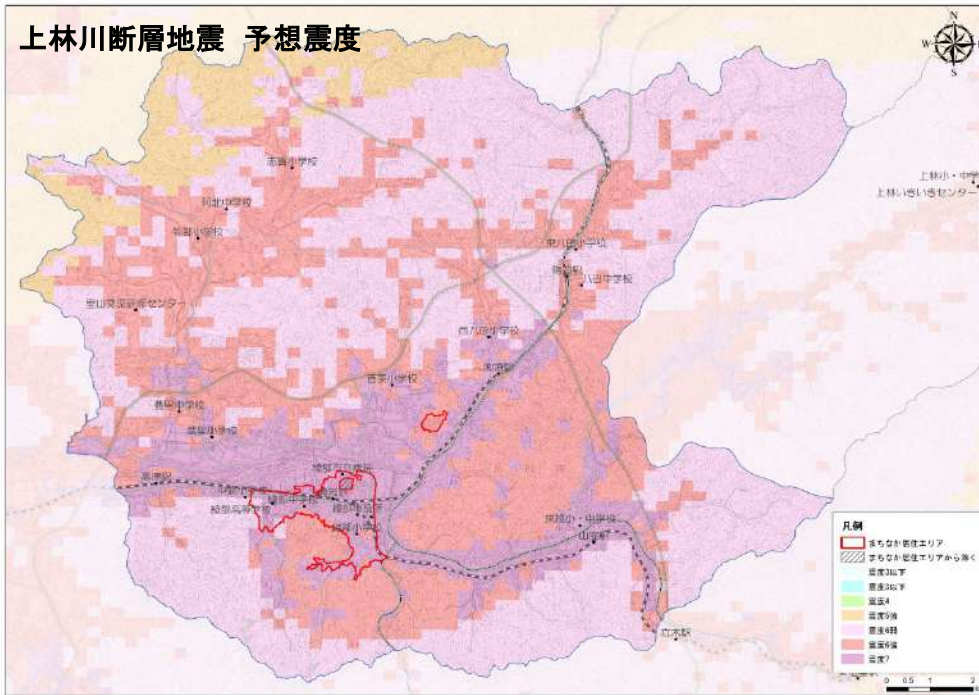
主な震度	5弱～7	
建物被害	全壊	16,300棟
	半壊 一部損壊	8,670棟
死者数(冬早期)	470人	
負傷者数(冬早期)	2,390人	
短期避難所避難者数	24,460人	

### 【三峠断層地震の被害想定】

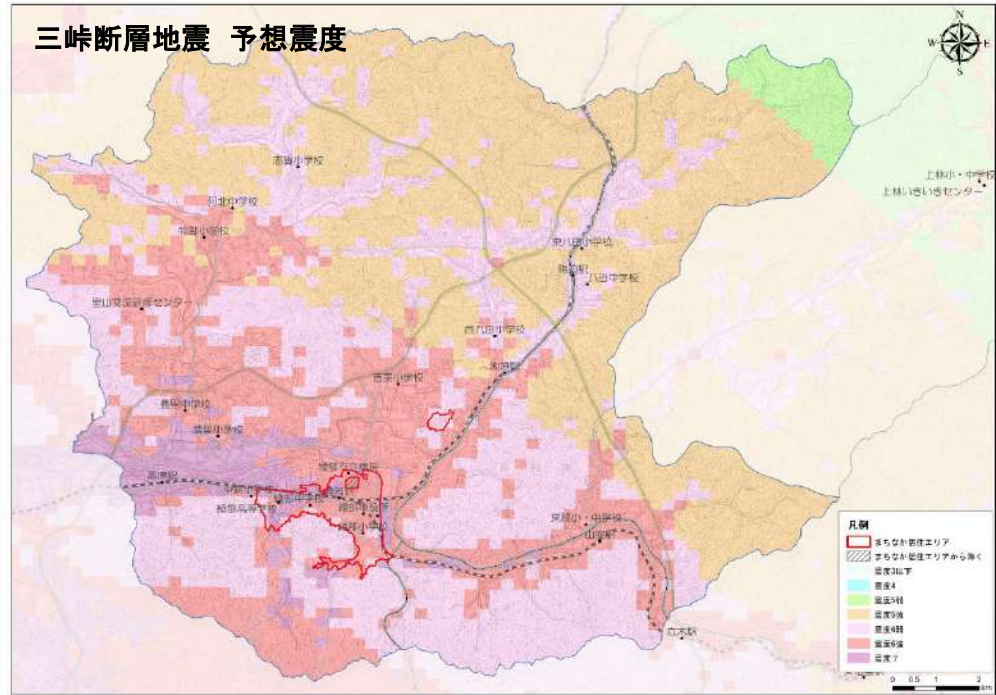
主な震度	4～7	
建物被害	全壊	9,880棟
	半壊 一部損壊	8,670棟
死者数(冬早期)	300人	
負傷者数(冬早期)	1,620人	
短期避難所避難者数	19,120人	

資料：京都府

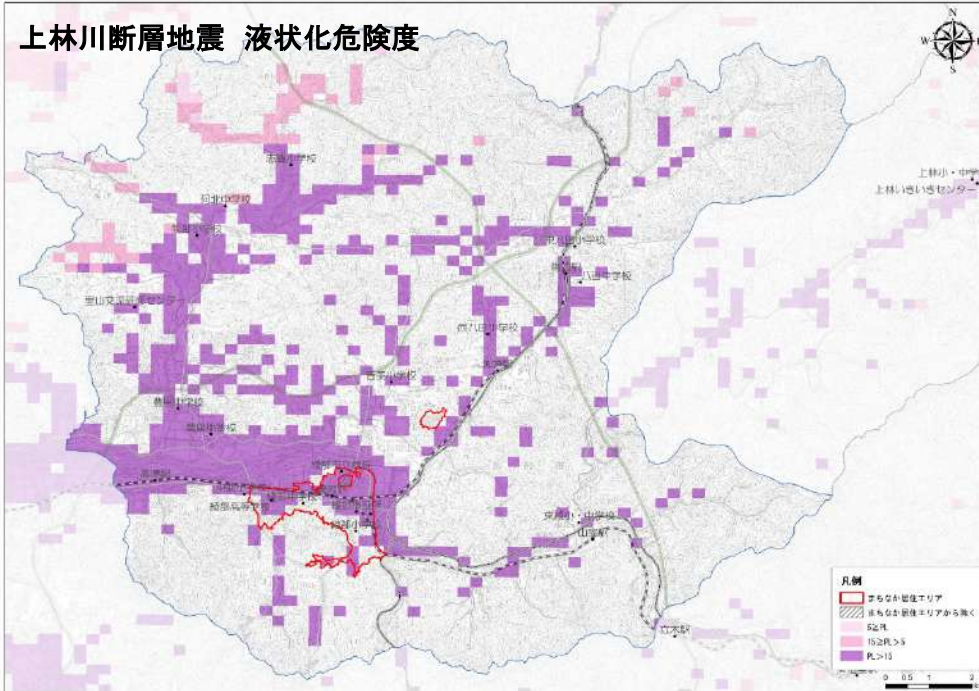
上林川断層地震 予想震度



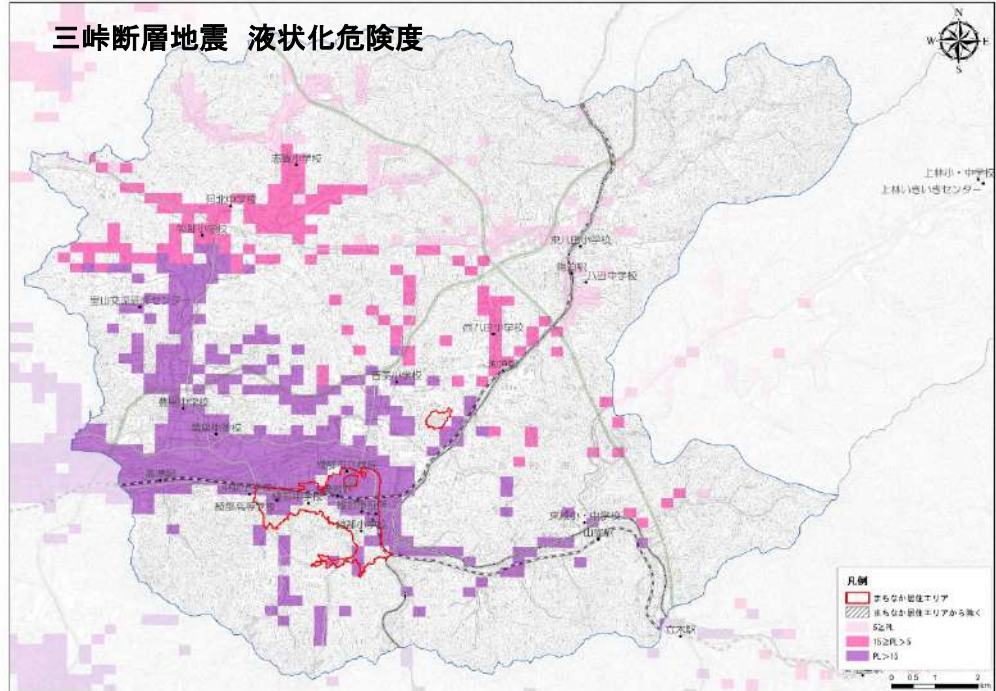
三峠断層地震 予想震度



上林川断層地震 液状化危険度



三峠断層地震 液状化危険度





# 災害リスク:地震

## 予想震度と液状化危険度2 都市計画区域

● 郷村断層地震、養父断層地震による液状化の危険性は、上林川断層や三峠断層と比べ低くなっており、影響範囲もやや狭くなりますが、一定の被害は想定されています。

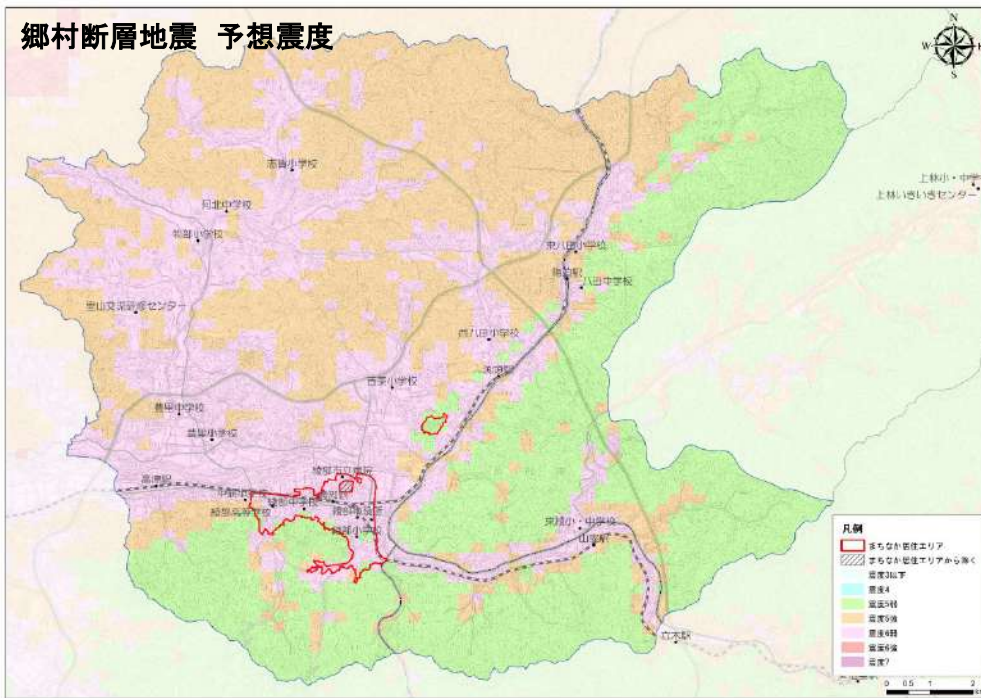
### 【郷村断層地震の被害想定】

主な震度	5弱～6弱	
建物被害	全壊	2,070棟
	半壊 一部損壊	5,840棟
死者数(冬早期)	40人	
負傷者数(冬早期)	490人	
短期避難所避難者数	7,400人	

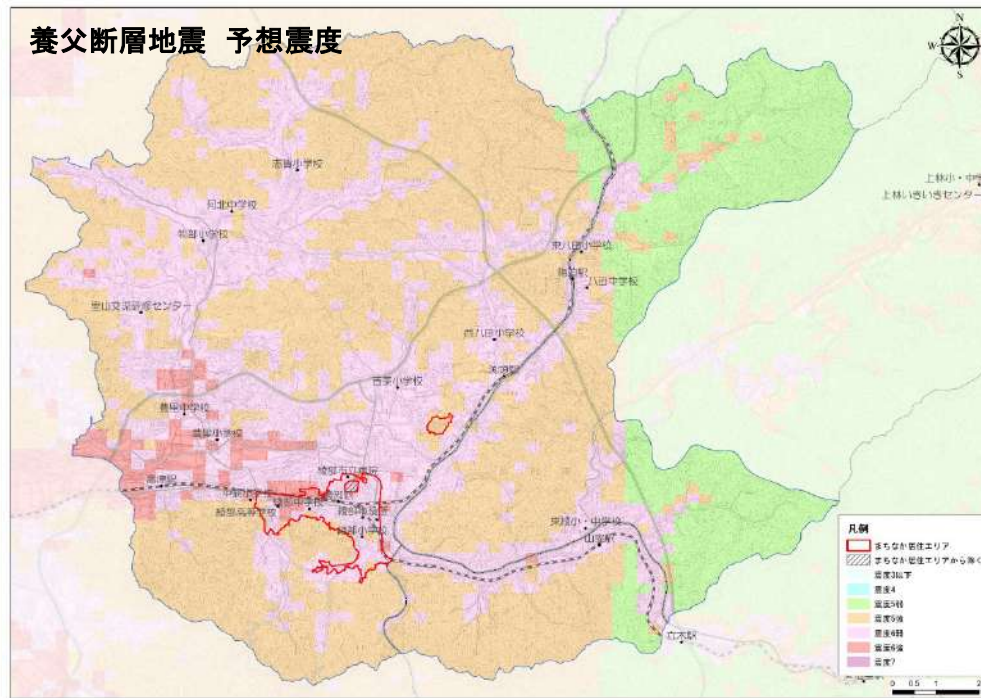
### 【養父断層地震の被害想定】

主な震度	5弱～6強	
建物被害	全壊	3,110棟
	半壊 一部損壊	6,890棟
死者数(冬早期)	60人	
負傷者数(冬早期)	660人	
短期避難所避難者数	9,770人	

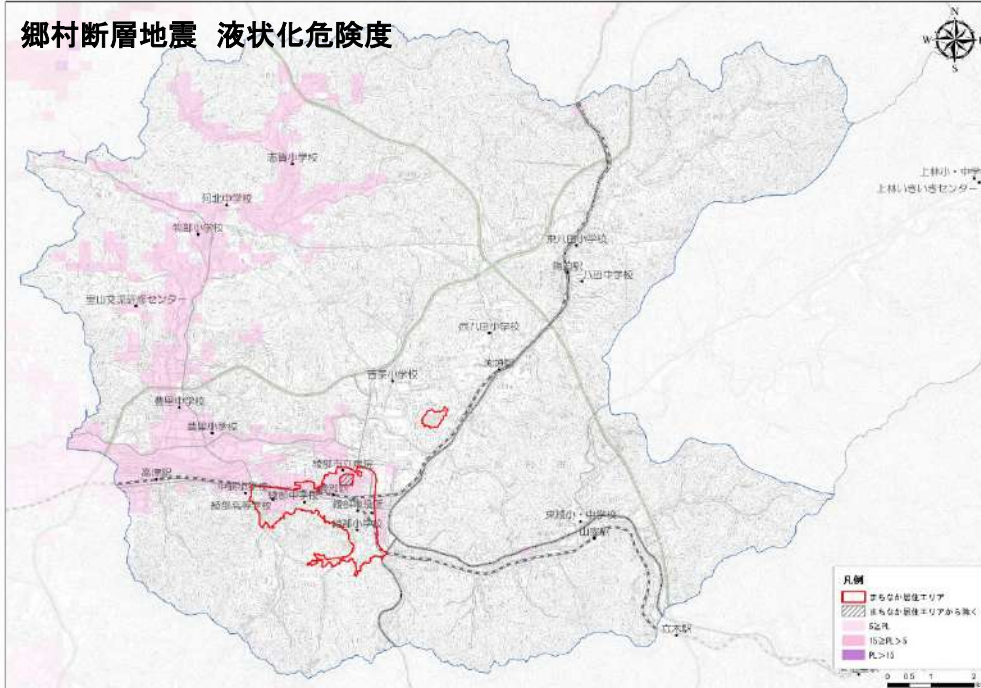
郷村断層地震 予想震度



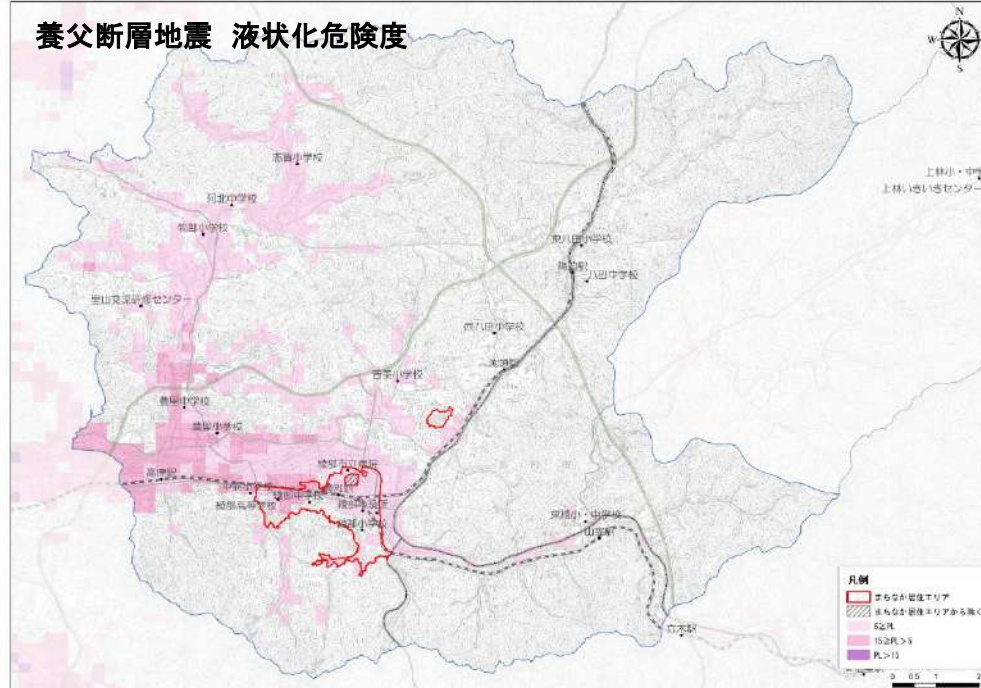
養父断層地震 予想震度



郷村断層地震 液状化危険度



養父断層地震 液状化危険度





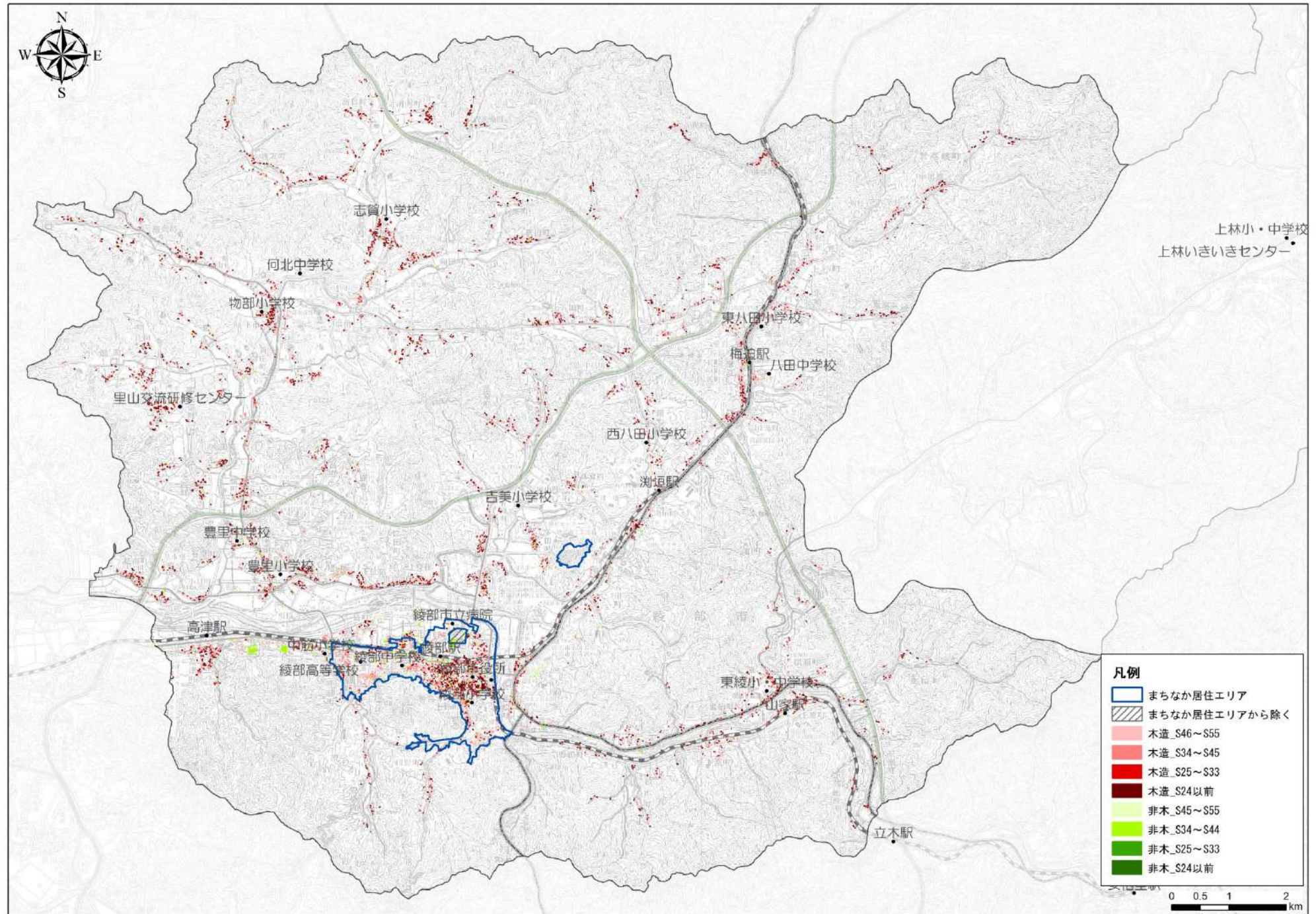
# 災害リスク:地震

## 旧耐震建築物の分布

### 都市計画区域

- 市内の各所に旧耐震建築物が多く存在しています。

資料：建物現況調査（令和2年度・綾部市）





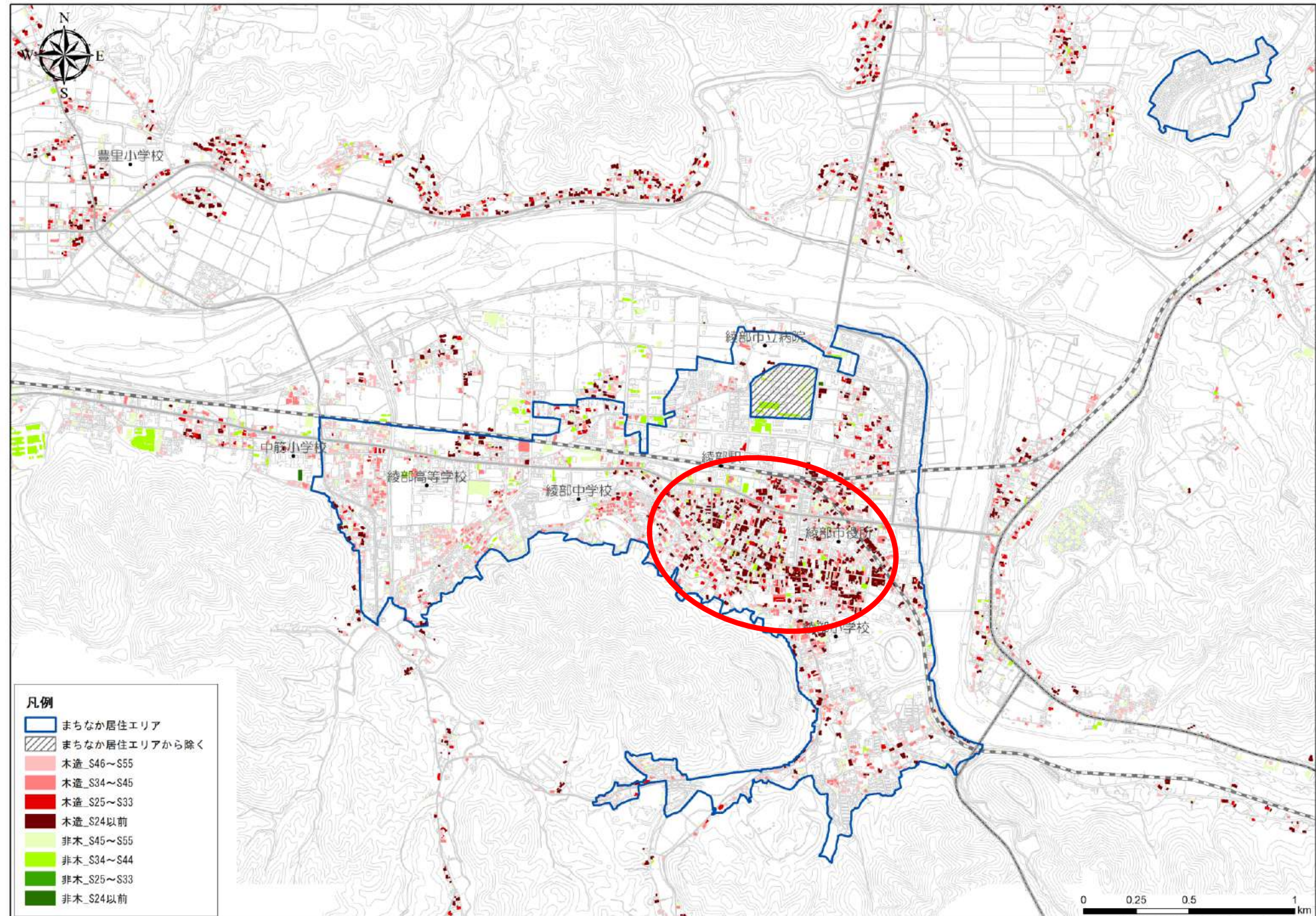
# 災害リスク:地震

## 旧耐震建築物の分布

### 市街地の状況

- 綾部駅南側の中心市街地は古くから形成された市街地であり、古い建物が密集しています。

資料：建物現況調査（令和2年度・綾部市）



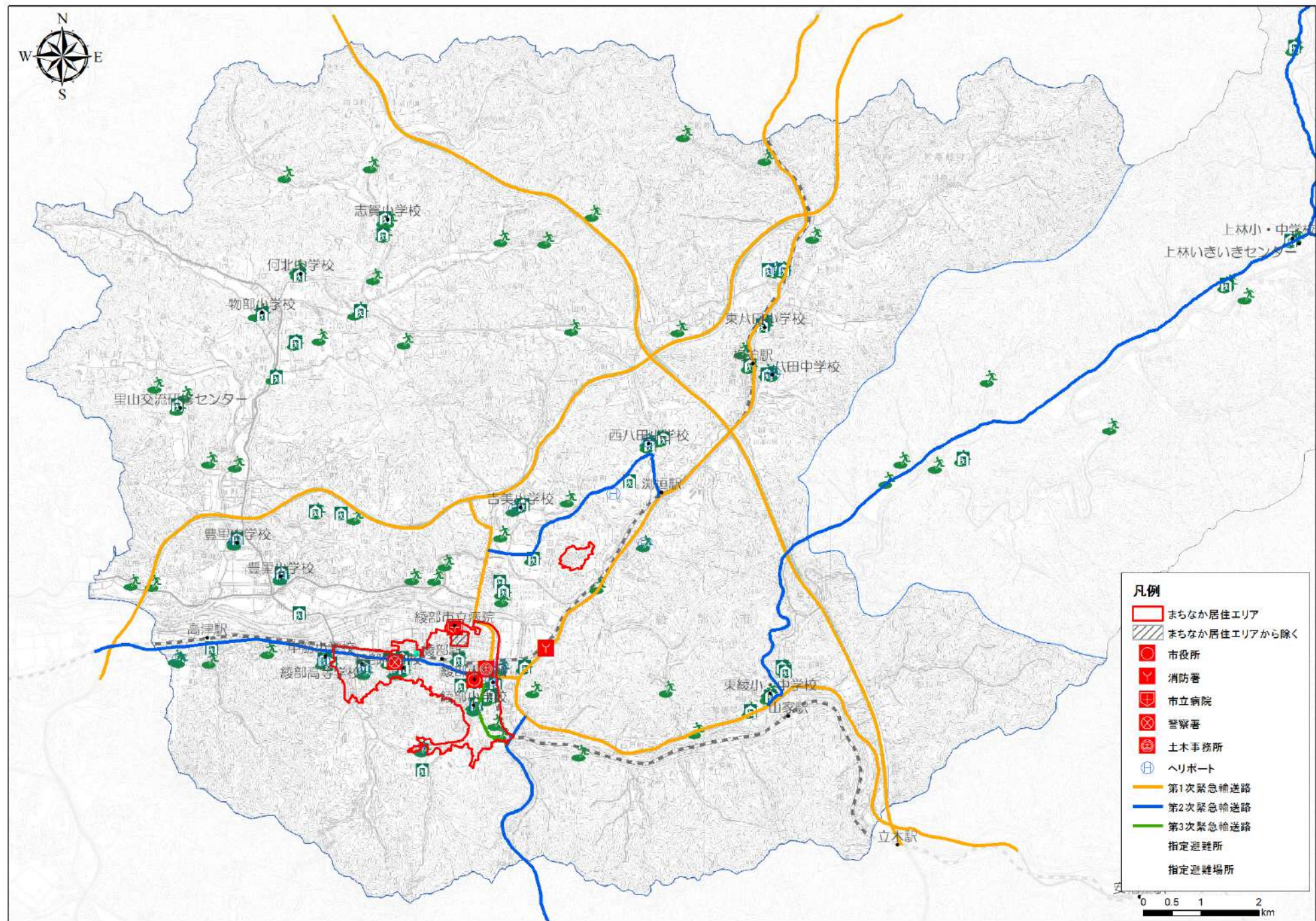


# 防災関連施設の状況

防災拠点  
ヘリポート  
緊急輸送路  
指定避難所  
指定緊急避難場所

都市計画区域

資料：綾部市ハザードマップほか



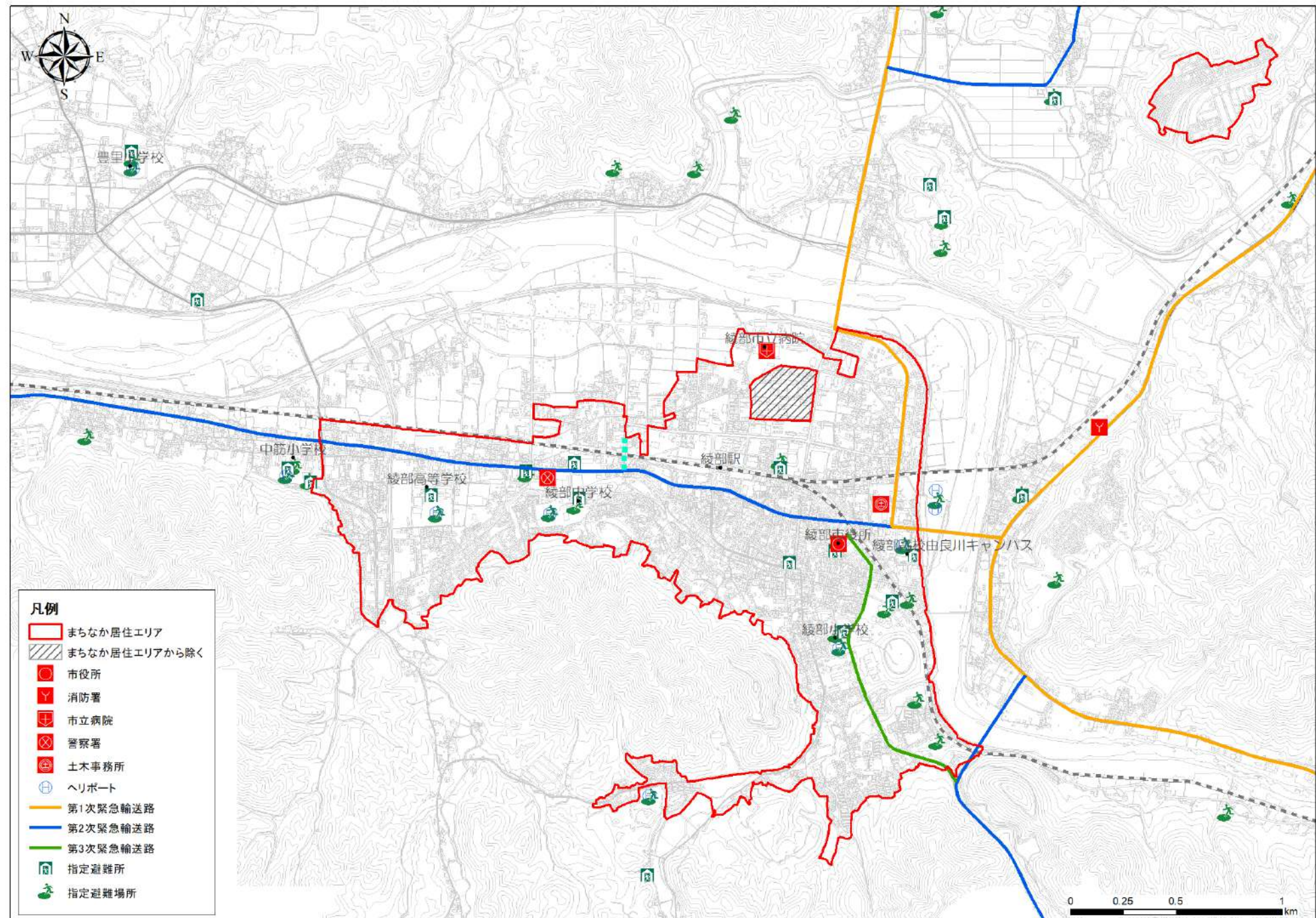


# 防災関連施設の状況

- 防災拠点
- ヘリポート
- 緊急輸送路
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所

## 市街地の状況

資料：綾部市ハザードマップほか







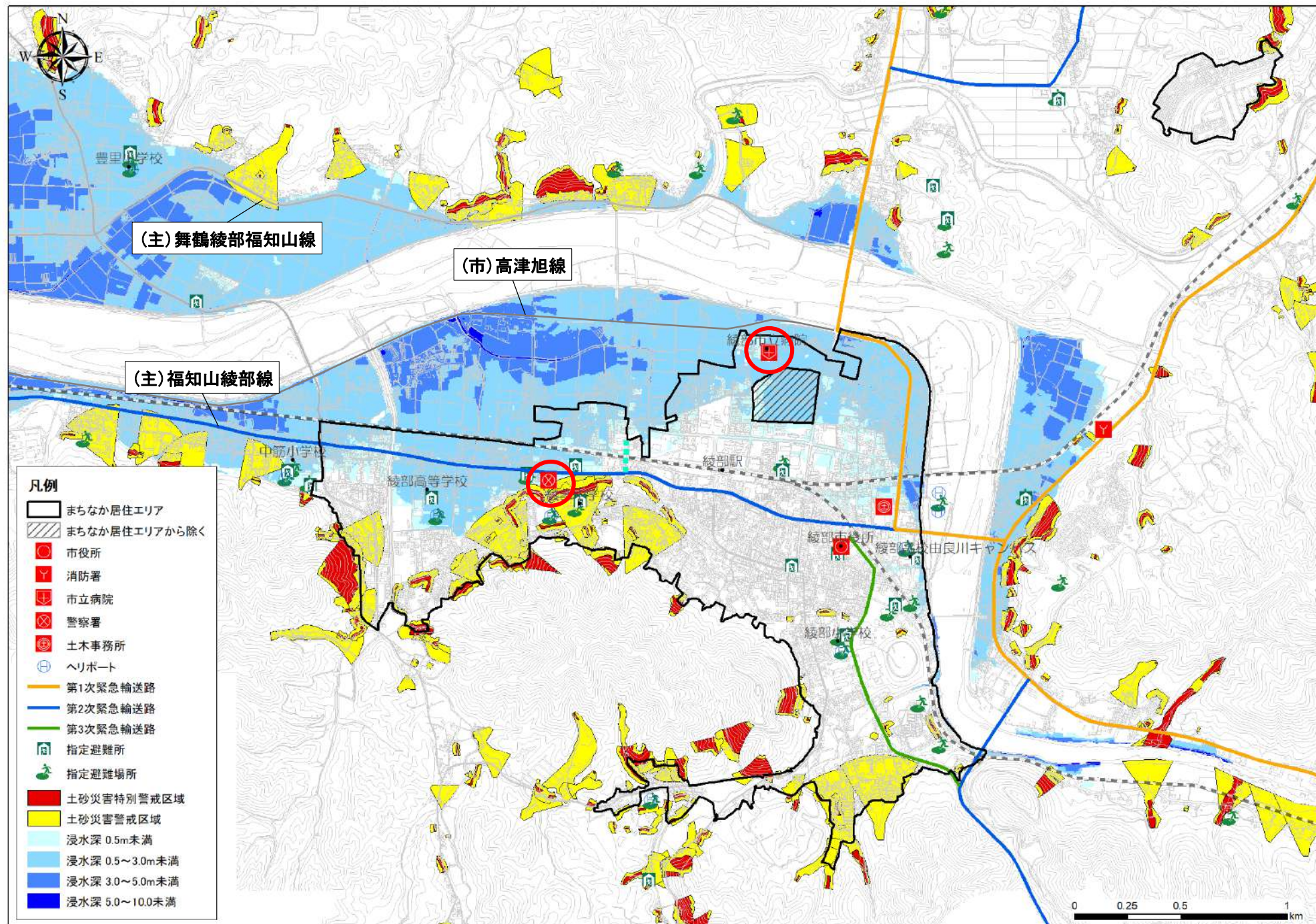


# 防災関連施設の状況

災害リスクと  
防災関連施設の関係  
(計画規模)

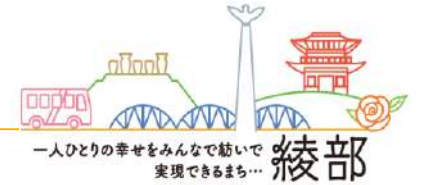
市街地の状況

- 計画規模の場合、綾部市立病院(3.0m未満)と警察署(0.5m未満)は浸水が想定されます。
- 主要地方道福知山綾部線(第1次緊急輸送路)、主要地方道舞鶴綾部福知山線(第1次緊急輸送路)、市道高津旭線のいずれも浸水想定区域となっています。



資料：綾部市ハザードマップほか





# まちなか居住エリアにおける 災害リスクと対応方針及び施策



# まちなか居住エリアにおける水害への対応方針

## ●都市基盤整備

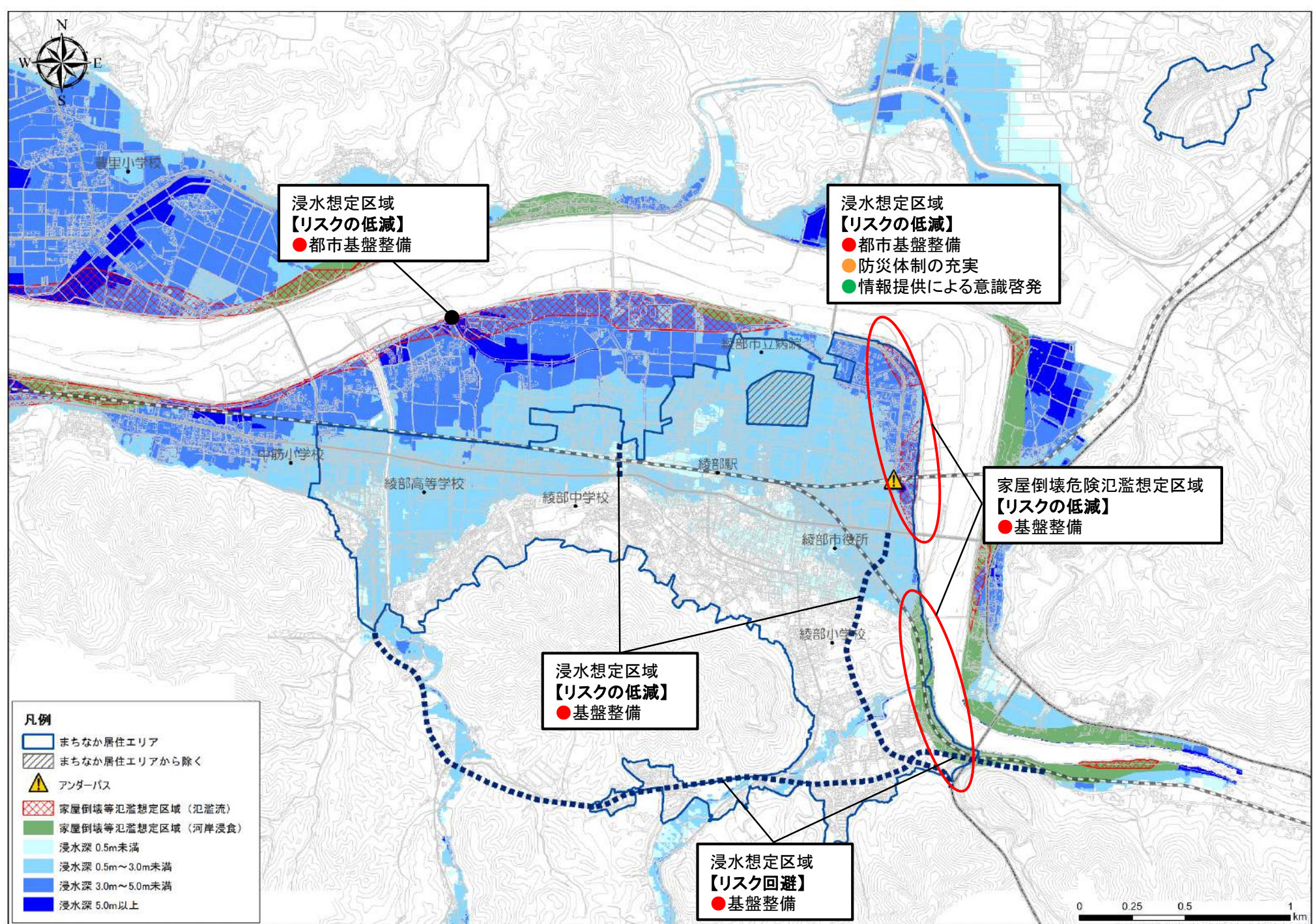
由良川の氾濫リスクを抑制するため、並松町での築堤や、河道掘削などの河川整備の促進を国に働きかけます。  
また、避難路の整備や、災害に備えた緊急輸送路のリダンダンシー確保などに取り組み、災害の発生に備えます。

## ●防災体制の充実

避難誘導標識の整備によりスムーズな避難が可能になる環境を整えます。  
また、防災拠点となる公共施設等の耐震化や設備の充実を進めます。

## ●情報提供による意識啓発

ハザードマップの配布や、防災講座、防災訓練を通じて、市民の防災意識の向上に努めます。





# まちなか居住エリアにおける 土砂災害への対応方針

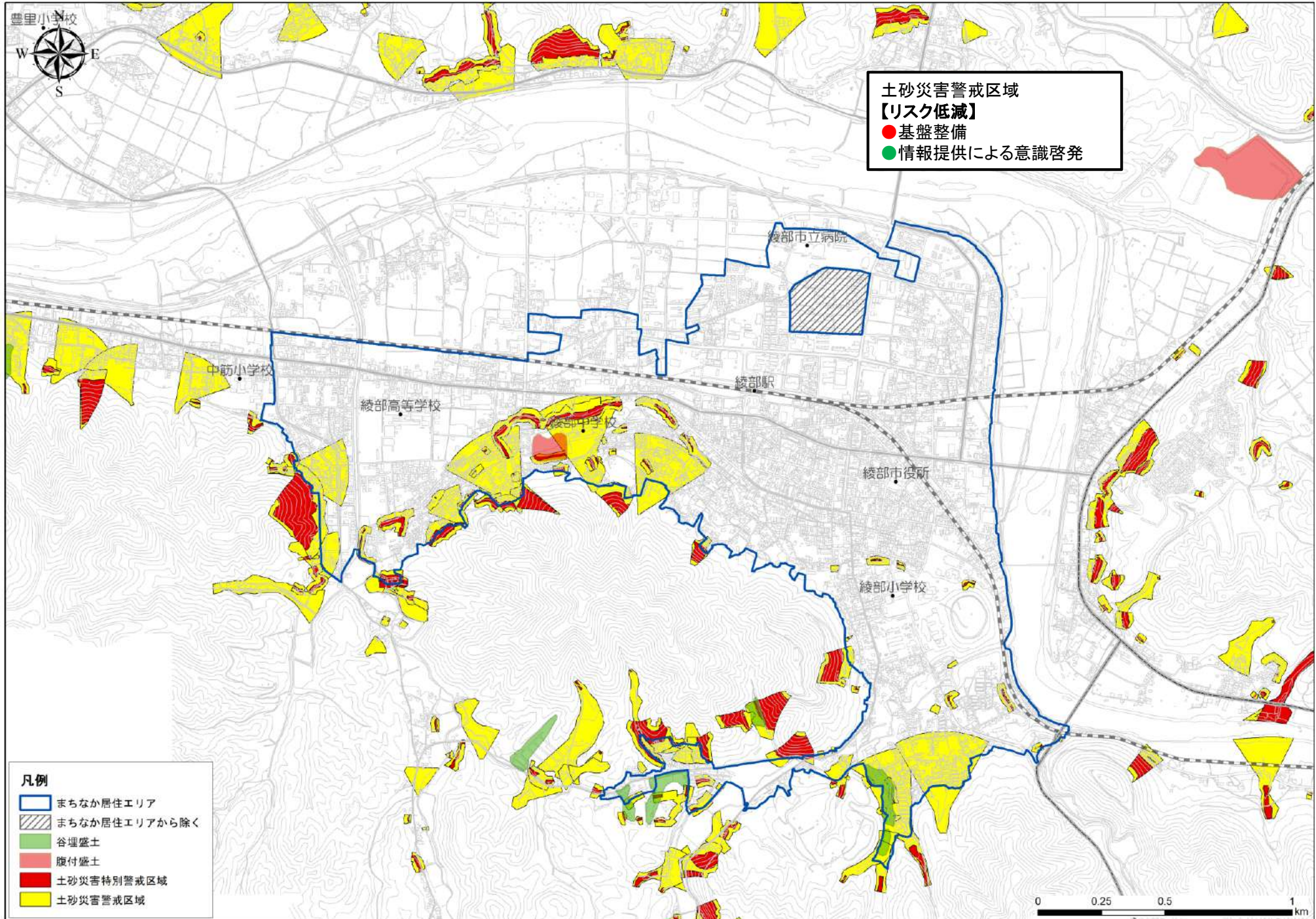
## ●都市基盤整備

京都府と連携し急傾斜地や砂防指定地の対策事業を促進します。

## ●情報提供による意識啓発

ハザードマップの配布や、防災講座、防災訓練を通じて、市民の防災意識の向上に努めます。

大規模盛土造成地の第2次スクリーニングを促進します。





# まちなか居住エリアにおける地震災害への対応方針

## ●都市基盤整備

中心市街地の再整備により災害に強い安全な住環境の構築に努めます。  
また、避難路の整備により災害の発生に備えます。

## ●住宅の耐震化

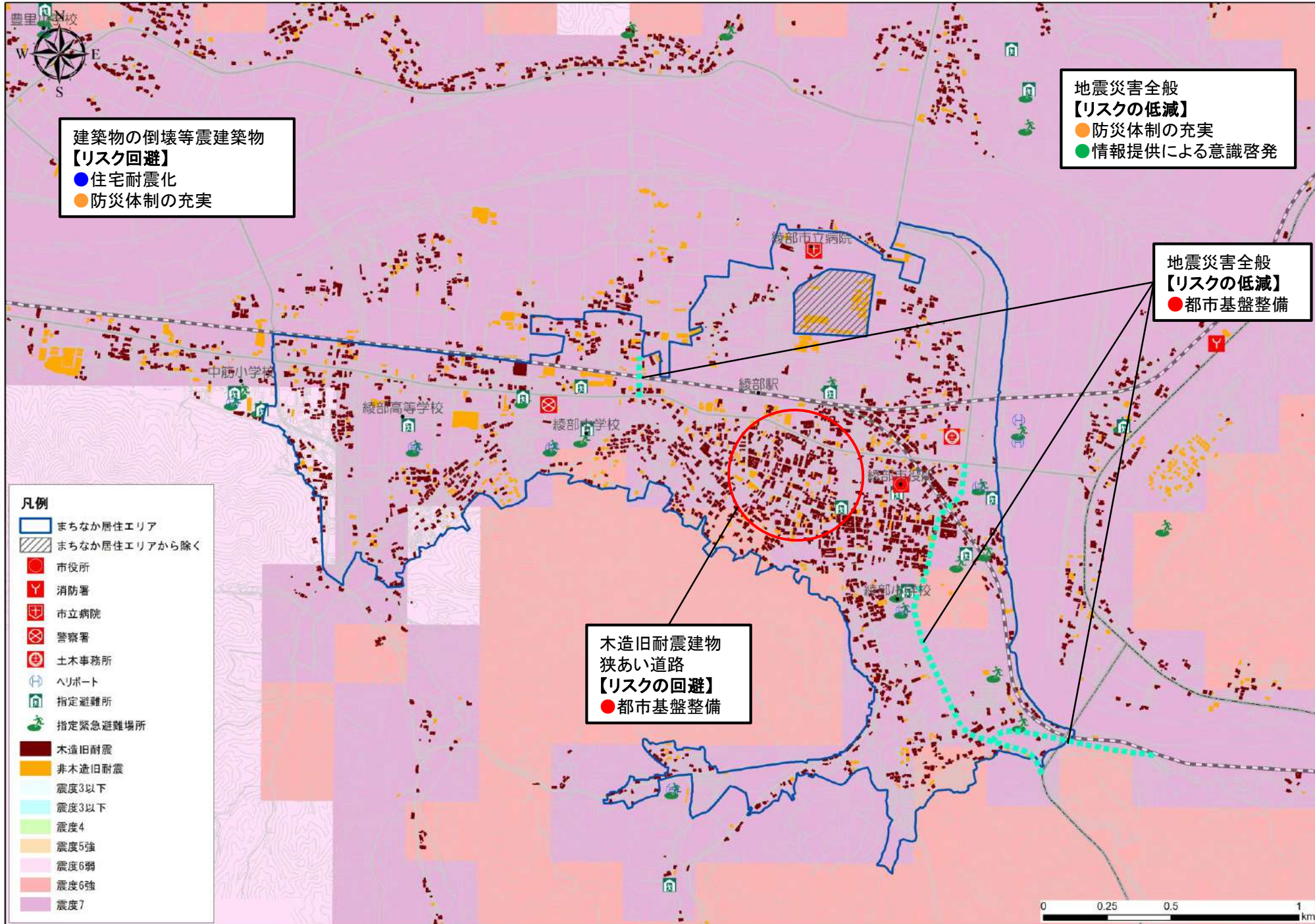
住宅の耐震化を促し、災害に強いまちづくりを進めます。

## ●防災体制の充実

避難誘導標識の整備によりスムーズな避難が可能になる環境を整えます。  
また防災拠点となる公共施設等の耐震化や設備の充実を進めます。

## ●情報提供による意識啓発

ハザードマップの配布や、防災講座、防災訓練を通じて、市民の防災意識の向上に努めます。





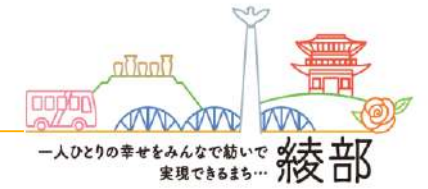
# まちなか居住エリアにおける 施策の展開

各災害リスクへの対応方針を踏まえ、課題解決のための施策を定めます。

対応方針	施策	実施主体	実施時期の目安		
			短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)
都市 基盤整備	由良川堤防改修(並松地区)の促進	国	→		
	由良川改修(樹木伐採、河道掘削等)の促進	国	→		
	市道宮代豊里線整備(避難路の整備)	市	→		
	市道野田須知山線(都市計画道路須知山線)整備(避難路の整備)	市	→		
	綾部環状道路の実現に向けた取組の推進(緊急輸送路のリダンダンシー確保)	府・市	→		
	市街地等における道路の無電柱化の検討(避難路の整備)	府・市	→		
	急傾斜地崩壊対策事業や砂防対策事業などの促進	府	→		
	綾部雨水ポンプ場の運用	市	→		
	雨水排水路や樋門の適正な維持管理	市	→		
住宅の 耐震化	木造住宅耐震診断士派遣事業	市	→		
	木造住宅耐震改修等補助事業	市	→		
防災体制の 充実	避難誘導標識設置事業	市	→		
	防災拠点となる公共施設等への太陽光発電システムの導入の促進	市	→		
	綾部市建築物耐震改修促進計画に基づく公共施設等の耐震化の推進	市	→		
情報提供に よる 意識啓発	ハザードマップの配布による危険個所の周知	市	→		
	防災行政無線、メールマガジン、コミュニティFM、市HP等による意識啓発	市	→		
	防災講座や訓練の実施、避難行動タイムライン作成等、市民の防災意識向上	市	→		
	大規模盛土造成地の2次スクリーニングの促進	府	→		



# 綾部市立地適正化計画 防災指針



## 計画のフォローアップ



## 計画のフォローアップ

立地適正化計画は原則5年ごとに  
見直しを行うため、防災指針も  
同じタイミングで見直しを行います。

ただし、状況の変化など、必要に  
応じて随時見直しを行うことも  
できます。

## 原則、5年ごとに見直しを実施

